



HIROSAKI  
UNIVERSITY



子どもといっしょに  
私も成長。

① 男は耕作、  
女は機織りに  
はげみ。夜も仕事  
をすること

② 麦・アワ・ヒエ  
などの雑穀を  
作り、米を食い  
つぶさないこと

③ 酒や茶を  
買って飲んでは  
ならない

# 弘前大学 2019 教育学部

FACULTY OF EDUCATION



# 教育プロフェッショナルへ

## CONTENTS〈目次〉

学部長メッセージ	2
教育学部の概要	3
入学定員と入学者選抜方法	5
取得できる教員免許状	6
学校教育教員養成課程	
初等中等教育専攻 小学校コース	7
中学校コース	9
特別支援教育専攻	11
養護教諭養成課程	13
初等中等教育専攻の学生が所属するサブコースの紹介	
■ 教育科学	15
■ 発達心理	16
■ 幼児教育	17
■ 国語教育	18
■ 社会科教育	19
■ 数学教育	20
■ 理科教育	21
■ 音楽教育	22
■ 美術教育	23
■ 保健体育教育	24
■ 技術教育	25
■ 家政教育	26
■ 英語教育	27
実践力の強化	
長期継続型実習	28
地域協働型教員養成プログラム	30
附属学校園	31
附属教育実践総合センター	32
附属教員養成学研究開発センター	33
特別支援教育センター	33
国際音楽センター	33
国際交流	34
弘前大学大学院 教育学研究科	35
福利厚生	37
課外活動	39
就職状況・進路	40
教職支援室	41
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	43
解決！よくある質問	44
弘前大学周辺地図とアクセスガイド	45

2年生から、  
選択した  
サブコースで、  
卒業研究を  
行います。



※この学部案内の内容は平成30年4月現在の状況と、平成31年度の計画に基づいて作成されています。



# の道

## 学部長メッセージ



教育学部長 戸塚 学

本学部では、「子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員の養成」を目指し、「教わる側」から「教える側」へ、段階的に、そして確実に教員への道のりをサポートします。

今日、子どもたちを取り巻く社会環境は刻々と変化しており、学校教育現場では様々な課題への対応が迫られています。しかし、いつの時代にあっても、どのような背景においても、学校教員の基本的な役割は大きくは変わらないはずで、子どもたちの自立を如何に導くか、そのためにはどのようなサポートを行うべきかを常に考え、直面する教育課題に情熱を忘れずに立ち向かい、子どもたちに寄り添うことだと考えます。

今後、学校教育には、子どもたちが新しい時代に向けて必要となる資質・能力の育成が求められます。子どもたちは、学校での学習の中で、これまでどおり幅広い知識・技能の習得をすることはもとより、その知識や技能を統合し、実社会において活用できるスキルを身につけることが期待されます。

このような子どもたちを取り巻く環境の中、本学部では自ら課題を設定し課題解決を目指していく自律的発展力と、子ども・保護者・地域・教員・教育行政など様々な人々の関係性の中で教育活動を展開する協働性をもった教員養成を行っております。

名峰岩木山の麓にて、皆さんの教育プロフェッショナルへの道のりを確実にサポートします。





# 弘前大学教育学部は、 次世代の教育を担う教員養成の実現を目指し、 新たなチャレンジをしています。



## 地域で活躍できる「専門力」と「実践力」を持った教員の養成

### 小学校教員養成のための教育体制の充実

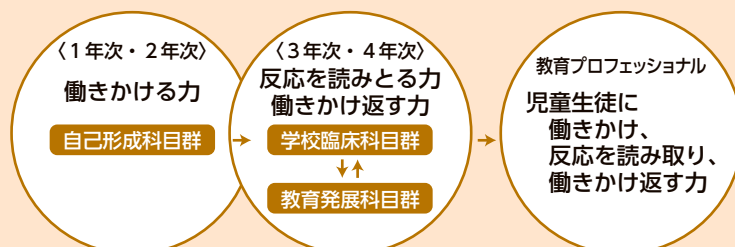
- 小学校教員養成に責任をもつ教育組織の導入
- 小・中一貫教育を視野に入れた教育カリキュラムの展開

### 総合大学の強みを生かした学部連携による教育体制の導入

- オール弘前大学体制：総合大学の強みを生かした学部連携（オール弘前大学）による教育体制の構築
- 地域課題探求型科目：「インクルーシブ教育」「健康教育」「環境教育」といった地域の教育課題へ対応できる教員の養成
- グローバル化：提携大学への海外短期留学プログラム制度の拡充

### 時代の要請に応える教員養成カリキュラムの充実

- 「教わる側」から「教える側」へ：子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる専門的知識・技能と実践的指導力を兼ね備え、学校現場や学校を取り巻く地域で活躍できる教員を養成するカリキュラム
- 3つの科目群から構成された教員養成カリキュラム：児童・生徒そしてさまざまな人々に働きかけ、読みとり、働きかけ返す力をもつ教育プロフェッショナルを養成するカリキュラム



- 地域協働型教員養成：従来の教育実習に加え、地域の学校や教育委員会を介した教育活動を積極的に導入

## 卒業後速やかに教育現場で活躍できる人材の養成

### 教職キャリア教育の充実

- 現役学生及び卒業生を対象とした教職支援室における恒常的サポート体制
- 現場経験の豊富な教職支援アドバイザーによる教員採用試験サポート体制
- 卒業後の教職キャリア支援体制の充実と整備

# 専門力と実践力を兼ね備えた、地域から期待される教員の養成

# 弘前大学

「教わる側」から「教える側」へ、  
「専門力の充実」と「実践力の強化」の側面から段階的に  
教員への道のりをサポートします。

教育学部

- 附属教育実践総合センター
- 国際音楽センター
- 附属中学校
- 附属教員養成学研究開発センター
- 附属幼稚園
- 附属特別支援学校
- 特別支援教育センター
- 附属小学校

## 学校教育教員養成課程

### 初等中等教育専攻

#### 小学校コース

小学校コースでは、様々な教科にまたがる幅広い知識を持ち、教科指導だけでなく特別活動・生徒指導など小学校生活全般に必要な資質や能力を身に付け、学校現場のいろいろな課題に対応できる実践的指導力を持った小学校教員を養成します。

#### 中学校コース

中学校コースでは、各々の専攻において専門とする分野の学習を深めることにより、各々の教科の知識や技能を確実に身に付けるとともに、それを自信を持って指導できる実践的指導力を兼ね備えた中学校教員を養成します。

国語専修

社会専修

数学専修

理科専修

音楽専修

美術専修

保健体育専修

技術専修

家庭科専修

英語専修

### 特別支援教育専攻

特別支援教育に関する深い知識と技術を有し、特別支援学校や特別支援学級、通常学級など特別支援教育の現場で活躍することができる教員を養成します。

専門力

各専攻・コースで学習する専門の力

実践力

附属学校園、附属教育実践総合センター、附属教員養成学研究開発センターのサポートによる1年生から4年生まで長期にわたる教育実習関連科目の充実

## 養護教諭養成課程

専門職としての社会的責任を自覚し、その活動に必要な研究・研修を自ら進んで行うことのできる養護教諭を養成します。

専門力

養護学を基盤にした養護教諭活動に必要な専門知識と技能の習得

実践力

子どもたちの心と体の健康問題を解決し、子どもが生涯にわたって健康に生きる力を育むことができるような豊かな専門性、実践力の養成



# 入学定員と入学者選抜方法

- ・個別学力試験の科目ごとの出題範囲および第2志望選抜については、それぞれの課程・専攻・専修により別に定めています。詳細については弘前大学入試課入試情報HPにてご確認ください。
- ・「AO入試Ⅰ」は大学入試センター試験を課さないものであり、「AO入試Ⅱ」は大学入試センター試験を課すものです。

## 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース 入学定員 85名

AO入試Ⅱ	一般入試 前期日程			一般入試 後期日程
入学定員	入学定員	受験科目		入学定員 受験科目
25	40	国語 数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B 物理 化学 生物 地学 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ + 英語表現Ⅰ・Ⅱ から1科目		20 面接

## 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース 入学定員 55名

	AO入試Ⅰ	一般入試 前期日程			一般入試 後期日程
	入学定員	入学定員	受験科目		入学定員 受験科目
国語専修	—	7	国語 ※1		— —
社会専修	—	7	国語 ※1		
数学専修	—	8	数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B ※1		
理科専修	—	8	物理、化学、生物、地学 から1科目 ※1		
音楽専修	2	2	音楽総合		
美術専修	—	3	美術総合		
保健体育専修	3	3	保健体育総合		
技術専修	—	3	物理、化学、生物、地学 から1科目 ※1		
家庭科専修	—	3	国語 ※1		
英語専修	—	6	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ + 英語表現Ⅰ・Ⅱ ※1		

※1 小学校コースへの第二志望を可能とする。

## 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 入学定員 10名

AO入試Ⅰ	一般入試 前期日程			一般入試 後期日程
入学定員	入学定員	受験科目		入学定員 受験科目
5	5	国語、数学Ⅰ・Ⅱ・A・B から1科目		— —

## 養護教諭養成課程 入学定員 20名

AO入試Ⅰ	一般入試 前期日程			一般入試 後期日程
入学定員	入学定員	受験科目		入学定員 受験科目
6	14	物理、化学、生物、地学 から1科目		— —

# 取得できる教員免許状

## 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 小学校コース

取得可能な教員免許状		在学中に所属できるサブコース P.15～27をご覧ください。
卒業所要単位で取得可能	追加履修で取得可能	
小一種	幼一種 (二種) 中一種 (二種) 高一種 特支一種 (二種) (知・肢・病)	教育科学、発達心理、幼児教育、国語教育、 社会科教育、数学教育、理科教育、音楽教育、 美術教育、保健体育教育、技術教育、 家政教育、英語教育

## 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻 中学校コース

取得可能な教員免許状		在学中に所属できるサブコース P.15～27をご覧ください。
卒業所要単位で取得可能	追加履修で取得可能	
国語専修	中一種 (国)、高一種 (国) ※ <sup>1</sup>	国語教育、教育科学、発達心理
社会専修	中一種 (社)	社会科教育、教育科学、発達心理
数学専修	中一種 (数)、高一種 (数) ※ <sup>1</sup>	数学教育、教育科学、発達心理
理科専修	中一種 (理)、高一種 (理)	理科教育、教育科学、発達心理
音楽専修	中一種 (音)、高一種 (音)	音楽教育、教育科学、発達心理
美術専修	中一種 (美)、高一種 (美) ※ <sup>1</sup>	美術教育、教育科学、発達心理
保健体育専修	中一種 (保体)、高一種 (保体)	保健体育教育、教育科学、発達心理
技術専修	中一種 (技)	技術教育、教育科学、発達心理
家庭科専修	中一種 (家)、高一種 (家)	家政教育、教育科学、発達心理
英語専修	中一種 (英)、高一種 (英)	英語教育、教育科学、発達心理

※<sup>1</sup> 高一種免許状取得のためには各々次のように「卒業所要単位」に追加履修する必要があります。  
 国、数：1科目程度 美：1～2科目程度

※<sup>2</sup> 高一種 (地歴) (公民) 取得のためには数～10科目程度追加履修する必要があります。

※<sup>3</sup> 高一種 (工業) 取得のためには4科目程度追加履修する必要があります。

## 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻

取得可能な教員免許状		追加履修で取得可能
卒業所要単位で取得可能		
特支一種 (知・肢・病) 小一種または中一種 ※ <sup>4</sup>		小学校コース、中学校コースの表に記載された他の免許状

※<sup>4</sup> 中学校コースにあるいずれかの教科の免許状

## 養護教諭養成課程

取得可能な教員免許状	
卒業所要単位で取得可能	追加履修で取得可能
養護教諭一種	中一種 (二種) (保健)、高一種 (保健)

# 小学校コース (定員85名)

小学校教員は児童に全教科を教えるだけでなく、総合学習、道徳、生徒指導、特別活動などの教育活動も担当します。小学校コースでは、そのために必要な幅広い知識と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目指しています。

小学校教員には教科指導と学級経営を両輪とした実践力が重要です。このために、教育学部教員養成学研究開発センターがいち早く開発した1年次から4年次までの実習・演習プログラムにより、附属小学校をはじめ公立学校と連携した様々な現場体験ができ、教師としての実践力が段階的に身に付けられるよう

なっています。また、子どもの実態をとらえるために、グループディスカッションを重ね、理解を深めています。こうしたプログラムと連動するように、文系・理系・芸術体育系に渡る様々な教科を、主体的・対話的に深く学びます。また、教師としての規範を意識しながら、教職科目を学びます。

このコースでは、主免許の小学校教員免許とともに、追加で単位を修得することで、副免許として種々の科目の中学校、高等学校の教員免許が取得可能であるとともに、幼稚園、特別支援学校の教員免許も取得可能です。

## 小学校教員養成のための教育体制の充実



### 主な授業科目

- 小学校国語基礎
- 小学校社会基礎
- 小学校算数基礎
- 小学校理科基礎
- 小学校音楽基礎
- 小学校図画工作基礎
- 小学校体育実技基礎
- 小学校家庭科基礎
- 小学校専門生活
- 小学校英語基礎
- 小学校理科・家庭科実験
- 小学校算数演習
- 小学校音楽実技
- 小学校図画工作演習
- 小学校体育実技
- 小学校家庭科実習
- 小学校国語講義
- 小学校社会講義
- 小学校音楽講義
- 小学校図画工作講義
- 小学校体育講義
- 小学校英語演習





在学中の所属サブコース

2年生から  
選択したサブコースで卒業研究を行います。

- 教育科学……………15
- 発達心理……………16
- 幼児教育……………17
- 国語教育……………18
- 社会科教育……………19
- 数学教育……………20
- 理科教育……………21
- 音楽教育……………22
- 美術教育……………23
- 保健体育教育……………24
- 技術教育……………25
- 家政教育……………26
- 英語教育……………27

主な出身高等学校

- 青森県／● 弘前高校 ● 弘前中央高校 ● 五所川原高校  
● 青森高校 ● 弘前南高校 ● 青森東高校  
● 八戸高校 ● 青森南高校 ● 三本木高校  
● 八戸北高校 ● 八戸東高校 ● 田名部高校  
● 木造高校 ● 東奥義塾高校  
● 弘前学院聖愛高校
- 北海道／● 函館中部高校 ● 帯広柏葉高校  
● 札幌清田高校 ● 函館高校
- 岩手県／● 花巻北高校 ● 盛岡第一高校  
● 盛岡第三高校 ● 黒沢尻北高校  
● 一関第一高校 ● 盛岡第四高校
- 秋田県／● 大館鳳鳴高校 ● 横手高校 ● 大曲高校  
● 本荘高校 ● 秋田高校 ● 能代高校
- 宮城県／● 宮城第一高校 ● 仙台二華高校  
● 仙台向山高校 ● 仙台第二高校  
● 仙台第一高校
- 山形県／● 酒田東高校 ● 鶴岡南高校 ● 新庄北高校  
● 山形東高校
- 福島県／● 安積黎明高校 ● 相馬高校 ● 橘高校

主な就職・進学先

- 公立小学校／● 青森県 ● 岩手県 ● 宮城県 ● 仙台市  
● 秋田県 ● 山形県 ● 福島県 ● 北海道  
● 神奈川県 ● 埼玉県 ● 茨城県  
● 千葉県 ● 東京都 ● 横浜市 ● 川崎市  
● 栃木県 ● 静岡県 ● 新潟県 ● 愛知県
- 公務員／● 市役所 ● 町役場 ● 公立学校  
● 保育園 ● 国立病院機構
- 民間企業／● 銀行 ● J R ● 郵便局 ● 教育関連
- 進学／● 弘前大学大学院  
● 東京学芸大学大学院  
● 広島大学大学院 ● 岩手大学大学院

学生からの  
メッセージ

弘前大学教育学部では、3年次の集中実習で実際に授業をしますが、1・2年次でも、実習が行われています。1年次では、市内の小・中学校の授業見学に行きます。2年次では、附属小学校(中学校)の各クラスに配属され、「先生」として、児童・生徒と接したり、行事に参加します。1・2年次の実習を通して、「教えられる側」から「教える側」になるという実感や自覚がわき、学年が上がるごとに実習の内容もステップアップして行くので、充実した実習を行うことができます。

また、実習や普段の講義において、グループディスカッションをする場面が多くあります。他の人の意見を聞くことで、自分との違いや自分にはない考えを知ることができるので、良い刺激になっています。

(平成27年度入学) 小山内 麻結



# 中学校コース (定員55名)

中学校教員は、各々の専門教科に関して深い理解と豊富な知識、優れた技能を持って指導に当たることにより、その教科に対する生徒の興味や関心を引き出すことができます。中学校コースでは中学校教員に必要な教科指導力を養うために、各々の専門教科について基礎的な授業を受講した後、より高度な知識や技能を身に付けるための発展的な授業を受講できるカリキュラムを組んでいます。

また、教科以外にも学校現場で直面する様々な課題に対し柔軟に対応できる実践力を兼ね備えた教員の養成を目指していま

す。長期継続型教育実習である「Tuesday実習」や「学校サポーター実習」等は弘前大学教育学部ならではの教育臨床プログラムであり、教員として即戦力となる実践的指導力を身に付けることができます。

このコースでは、主免許である各教科の中学校教員免許に加えて、追加で単位を修得することで、副免許として小学校教員免許や他の教科の中学校教員免許が取得可能であり、新しい教育体制である小中一貫教育にも対応しています。

## 中学校教員養成のための教育体制の充実



### 主な授業科目

共通	人間教育論Ⅰ、教育の社会制度論Ⅰ、生涯学習論、環境教育概論
中学校(国語)	日本語学Ⅰ、日本文学Ⅰ、漢文学Ⅰ、書道Ⅰ
中学校(社会)	日本史、地理学概論、法学概論、社会学Ⅰ、哲学Ⅰ
中学校(数学)	線形代数概論、変換と幾何学、論理・集合・写像、数学基礎A
中学校(理科)	基礎物理学Ⅰ、基礎化学Ⅰ、基礎生物学Ⅰ、基礎地学Ⅰ
中学校(音楽)	ソルフェージュⅠA、独唱Ⅰ、合奏および和楽器、音楽理論Ⅰ

中学校(美術) 素描、絵画基礎、彫刻基礎、デザイン基礎、美術史基礎

中学校(保健体育) 体育原理、陸上競技Ⅰ、スポーツ運動学、学校保健

中学校(技術) 木材加工技術基礎、機械技術基礎、栽培技術基礎、情報技術基礎

中学校(家庭) 家庭経営学Ⅰ、被服学Ⅰ、食物学Ⅰ、住居学Ⅰ、保育学Ⅰ

中学校(英語) 英文法Ⅰ、英米文学史Ⅰ、英米文学購読Ⅰ、コミュニケーションⅠ



在学中の所属サブコース

2年生から  
選択したサブコースで卒業研究を行います。

- 教育科学……………15
- 発達心理……………16
- 国語教育……………18
- 社会科教育……………19
- 数学教育……………20
- 理科教育……………21
- 音楽教育……………22
- 美術教育……………23
- 保健体育教育……………24
- 技術教育……………25
- 家政教育……………26
- 英語教育……………27



主な出身高等学校

- 青森県／●弘前高校 ●弘前中央高校 ●弘前南高校  
●青森高校 ●青森東高校 ●青森南高校  
●八戸東高校 ●八戸北高校 ●八戸西高校  
●五所川原高校 ●三本木高校 ●田名部高校  
●東奥義塾高校 ●青森山田高校  
●八戸工業大学第二高校
- 北海道／●札幌月寒高校 ●帯広柏葉高校  
●釧路湖陵高校 ●札幌旭丘高校  
●遺愛女子高校
- 岩手県／●盛岡第三高校 ●盛岡北高校 ●水沢高校  
●久慈高校 ●福岡高校 ●盛岡中央高校
- 秋田県／●秋田高校 ●秋田中央高校 ●秋田北高校  
●大館鳳鳴高校 ●湯沢高校
- 宮城県／●古川高校 ●仙台青陵中等教育学校
- 山形県／●山形南高校 ●長井高校
- 福島県／●郡山東高校 ●白河高校

主な就職・進学先

- 公立中学校・高校／●青森県 ●北海道 ●岩手県  
●宮城県 ●秋田県 ●仙台市 ●栃木県  
●埼玉県 ●東京都 ●千葉県 ●静岡県  
●新潟県
- 公立小学校／●群馬県
- 公務員／●市役所 ●町役場 ●公立学校
- 民間企業／●銀行 ●教育関連
- 進学／●弘前大学大学院  
●北海道教育大学大学院  
●宮城教育大学大学院  
●筑波大学大学院  
●昭和音楽大学大学院

学生からの  
メッセージ

弘前大学教育学部の特徴といえば、なんといっても教育実習体制が厚いことです！1年生では「教職入門」、2年生では「学校生活体験実習」、3年生では「集中実習」に加え、弘前大学独自の「Tuesday実習」、4年生では「学校サポーター実習」等たくさんあります。

「たくさん実習があるのはいいけど、実際にいきなり授業できるのかな？」と不安に思っているあなた！初めの頃の実習は授業見学から始まるし、なんとも一緒に乗り越えていける「仲間」ができるので、心配しなくても大丈夫ですよ！大学の先生からの講義やアドバイス、仲間と協議し合う活動の中で教育観を身に付けていけるので、そこで自分を高めていけると思います！

また、教育学部の中学校コースのいいところは、自分の専修教科+αの免許を取れることです。自分の幅を広げるためにも、小学校を取るもよし、中学校の他教科を取るもよしです。

弘前大学教育学部に来て、是非一緒に教員を目指してみませんか？

温かい先生や先輩が「君」を待っています！

(平成26年度入学) 対馬 皓大





# 特別支援教育専攻 (定員10名)

特別支援教育専攻は、特別支援学校をはじめ、特別支援学級や通常の学級など、特別支援教育の現場で活躍することができる、深い知識と技術を有した教員の養成を目的としています。

現在、全国から集まったおよそ50名余の学生たちが勉強しています。

特別支援学校は、障害のある子どもたちの教育を行う学校です。特別支援学校の教員になるためには、小学校または中学校

の教員免許状を取得した上に、さらに特別支援学校の教員免許状を取得する必要があります。

専門科目は1年次から開始され、附属特別支援学校での学校生活体験実習(2年次)、特別支援学校、小学校または中学校での教育実習(3年次)、特別支援教育相談支援への参加(3年次)などを経て、実践的・専門的な技能を高めていきます。



## 主な授業科目

### 【基礎】

- 特別支援教育の基礎理論
- 特別支援学校の教育課程
- 特別支援教育の原理と歴史

### 【知的障害】

- 知的障害者の心理
- 知的障害者の生理・病理
- 知的障害者の指導法

### 【肢体不自由】

- 肢体不自由者の心理・生理・病理
- 肢体不自由者の指導法

### 【病弱】

- 小児疾患
- 病弱者の指導法

### 【その他の障害】

- 視覚障害者教育総論
- 聴覚障害者教育総論
- 重度・重複障害者教育総論
- 自閉症・情緒障害者教育総論
- LD者等教育総論
- 言語障害者教育総論

### 【実習】

- 特別支援教育体験実習
- 特別支援学校教育実習
- 特別支援教育相談支援

### 【関連科目】

- 臨床発達心理学演習
- 精神衛生



卒業所要単位で取得可能な教員免許状

▼小学校コース選択

特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)  
 小学校教諭一種免許状  
 幼稚園教諭一種免許状 ※1

▼中学校コース選択

特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)  
 中学校教諭一種免許状  
 高等学校教諭一種免許状 ※2

※1 卒業所要単位に追加履修することで、取得できます。

※2 ただし、国語、美術、数学は1科目程度、  
 工業は4科目程度、  
 地理歴史、公民は、数～10科目程度、  
 卒業所要単位に追加履修する必要があります。



主な研究テーマ

- 中山 忠政 (特別支援教育の基礎理論)  
障害の原理と歴史、障害者福祉論
- 増田 貴人 (特別支援教育に関する心理)  
発達支援、心理、運動・身体活動
- 天海 丈久 (特別支援教育の指導法)  
教育課程、指導・支援方法

特別支援教育専攻  
の主な年間行事

- 4月 ■ 新入生歓迎会
- 8月 ■ 特別支援学校教育実習(3年生)
- 小・中学校教育実習(3年生)
- 9月 ■ 教職入門(1年生)
- 学校生活体験実習(2年生)
- 2月 ■ 卒業論文・修士論文発表会
- ゼミ所属決定(2年生)
- 卒業生・修了生送別会

主な出身高等学校

- 青 森 県／●弘前高校 ●弘前中央高校  
●青森高校 ●青森東高校  
●青森南高校 ●八戸高校  
●八戸西高校 ●三沢高校  
●三本木高校 ●東奥義塾高校  
●柴田女子高校
- 北 海 道／●札幌清田高校 ●北広島西高校  
●旭川北高校 ●札幌山の手高校  
●江差高校 ●静内高校  
●遺愛女子高校
- 岩 手 県／●盛岡第一高校 ●盛岡第四高校  
●大船渡高校
- 宮 城 県／●宮城第一高校 ●仙台第一高校  
●仙台第三高校 ●古川高校
- 秋 田 県／●新屋高校 ●大館鳳鳴高校  
●能代高校 ●能代松陽高校  
●本荘高校 ●秋田北鷹高校
- 福 島 県／●日本大学東北高校
- 関東・北陸／●取手聖徳女子高校  
●つくば秀英高校 ●千葉東高校  
●前橋商業高校 ●新潟明訓高校



主な就職・進学先

- 特別支援学校／●北海道 ●青森県 ●岩手県  
●茨城県 ●千葉県 ●東京都  
●神奈川県 ●静岡県
- 特別支援学級／●札幌市
- 公立小学校／●札幌市 ●茨城県
- 障害者支援施設／●千葉県  
上記の他、町役場、民間企業等
- 進 学／●弘前大学大学院

学生からの  
メッセージ

「特別支援教育ってなに?」「勉強についていけるのかな…」と思って  
いるそのあなた!!

安心して下さい、仲間がいます。  
この専攻では、特別支援教育につ  
いての基礎的・専門的な知識を学ん  
でいます。また、実習で子どもたち  
と関わるなど、とても楽しく実践的  
な経験を積んでいます。

学年問わずとても仲が良く、楽し  
い学生生活を送っています!個性的  
でパワフルな先生方の授業で日々充  
実しています。

入学を希望するみなさん、自分の  
持つ才能を発揮させてください。私  
たちと一緒に楽しいキャンパスライ  
フを送りましょう!

(平成26年度入学) 石川 可奈子  
岩城 彩苗

Welcome



# 養護教諭養成課程 (定員20名)

養護教諭は、学校におけるすべての教育活動を通して、健康教育と健康管理によって、児童生徒の発育発達を支援していく教育職員です。養護教諭の仕事は、けがや病気の手当・健康診断に関すること・心とからだの健康問題への相談的対応・学校環境の整備・健康を守り育てるための健康教育等であり、高度な専門的知識や実践力が求められます。

本課程には、養護学・教育保健・小児保健・学校看護学・解剖学・

衛生学を専門とする教員が在籍し、養護教諭を目指す学生に幅広い指導を真剣に行っています。また本課程の学生は、学生同士が主体的に学び合う雰囲気があり、授業での討議、実習、教育採用試験に向けた勉強も力を合わせて行っています。

弘前大学は、国立大学法人として、東北では唯一の養護教諭養成課程を設置する大学です。



## 主な授業科目

- 養護学概論 ● 養護学基礎実習 ● 養護学演習Ⅰ ● 養護学演習Ⅱ ● 養護学実習
- 性の発達と個人 ● 学校看護学 ● 学校看護学演習 ● 学校看護学実習
- 救急処置実習 ● 臨床看護学演習 ● 臨床実習 ● 学校保健(学校安全を含む)
- 学校保健研究Ⅰ ● 学校保健研究Ⅱ ● 保健指導論 ● 学校安全特論
- 健康相談活動の理論と方法 ● 児童臨床心理学 ● 児童臨床心理学演習 ● 精神保健
- 母性保健 ● 衛生学及び公衆衛生学Ⅰ(予防医学を含む) ● 衛生学及び公衆衛生学Ⅱ
- 衛生学及び公衆衛生学実習 ● 解剖学Ⅰ ● 解剖学Ⅱ ● 生理学 ● 生理学実習
- 病理学 ● 微生物学(免疫学を含む) ● 薬理概論 ● 栄養学及び食品学
- 小児科学Ⅰ(小児保健を含む) ● 小児科学Ⅱ(救急処置を含む) ● 臨床医科学Ⅰ〔内科学〕
- 臨床医科学Ⅱ〔救急・災害医学〕 ● 臨床医科学Ⅲ-1〔歯科、皮膚科、耳鼻科、眼科、整形外科〕
- 臨床医科学Ⅲ-2〔精神科〕

卒業所要単位で  
取得可能な教員免許状

## 養護教諭一種免許状

※中学校教諭一種免許状(保健)と  
高等学校教諭一種免許状(保健)  
については、卒業要件単位の他  
に7科目程度の追加履修で両方  
が取得できます。



主な出身高等学校

- 青森県／●弘前高校 ●弘前中央高校
  - 弘前南高校 ●青森高校 ●青森東高校
  - 青森南高校 ●八戸高校 ●八戸北高校
  - 五所川原高校 ●三沢高校
  - 三本木高校 ●東奥義塾高校
  - 八戸工業大学第二高校
- 北海道／●札幌新川高校 ●札幌清田高校
  - 帯広三条高校 ●網走南ヶ丘高校
- 岩手県／●盛岡第四高校 ●一関第一高校
  - 花巻北高校 ●黒沢尻北高校
  - 大船渡高校 ●久慈高校 ●福岡高校
- 宮城県／●仙台二華高校 ●泉館山高校
  - 石巻高校
- 秋田県／●秋田北高校 ●秋田南高校
  - 秋田中央高校 ●横手高校
  - 横手城南高校 ●大館鳳鳴高校
  - 能代高校 ●本荘高校 ●角館高校
  - 花輪高校 ●秋田西高校
- 山形県／●九里学園高校 ●山形東高校
  - 酒田東高校 ●鶴岡南高校
- 福島県／●安積高校 ●安積黎明高校
  - 福島東高校
- 関東・北陸／●下館第一高校 ●下館第二高校
  - 水海道第一高校 ●太田第一高校
  - 日立第一高校 ●竜ヶ崎第一高校
  - 前橋育英高校 ●宇都宮中央女子高校
  - 大田原女子高校 ●佐原高校
  - 薬園台高校 ●横須賀高校
  - 高田高校 ●新潟高校
- 中部・中国／●静岡・伊東高校 ●岐阜・岐山高校
  - 長野・上田高校 ●岡山県・勝山高校

主な就職・進学先

- 公立学校／●北海道 ●札幌市 ●青森県 ●岩手県
  - 宮城県 ●仙台市 ●秋田県 ●山形県
  - 福島県 ●栃木県 ●千葉県 ●川崎市
  - 新潟県 ●岐阜県 ●愛知県 ●島根県
- 私立学校／●青森県 ●岩手県
- 海外／●ホーチミン日本人学校
- 民間企業／●情報通信関連 ●医薬品卸売関連
  - 自動車販売関連 ●教育関連
  - 外食関連 ●製造業関連 ほか
- 進学／●弘前大学大学院教育学研究科



主な研究テーマ

- 太田 誠耕(衛生学)
  - 学校環境衛生に関する研究
- 新谷 ますみ(養護学)
  - 養護教諭の職務の特質に関する研究
- 葛西 敦子(学校看護学)
  - 学校看護学・母性保健に関する研究
- 小玉 正志(解剖学)
  - からだの発育発達に関する研究
- 田中 完(小児保健)
  - 小児慢性疾患の治療・管理と病態解明
- 原 郁水(教育保健)
  - 健康教育に関する研究

養護教諭養成課程の主な年間行事

- 4月 ■ 新入生歓迎会
- 8月 ■ オープンキャンパス
  - (養護教諭養成課程説明会)
- 9月 ■ 救急法講習会(2年生)
- 10月 ■ 総合文化祭(保健室)
- 12月 ■ 所属ゼミの決定(2年生)
- 12月 ■ 卒業論文中間発表会(4年生)
- 2月 ■ 卒業論文・修士論文発表会
  - 卒業生・修了生送別会

学生からのメッセージ

養護教諭養成課程では、養護教諭に求められる医学的な知識から教員としての知識まで、幅広い内容を各分野のプロの先生方に教えてもらうことができます。また、講義や実習でグループディスカッションや調べ学習をする場面が多くあるので、自分で調べ自分の言葉で表現し、仲間の意見を聞くことで考えや見方を広げることができます。養護教諭について漠然としか知らなくても、学んでいく中でたくさんの魅力を見つけることができます。ここには、個性的で楽しい先生方、頼れる先輩方、そしてお互いに高め合うことのできる心強い仲間がいます。ぜひ、私たちと一緒に学び、充実した大学生活を送ってみませんか。

(平成28年度入学) 工藤 怜





# 教育科学のサブコース

入学後、教育科学のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースすべての専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種  
高一種※

※所属専修の教科 P.6を参照  
ただし 地理歴史、公民、工業については卒業所要単位に追加履修することで取得できます。

教育科学では、教育方法学、教育史、教育制度論(教育行政学)、社会教育学、教育社会学等の様々な視角から、教育の過去・現在・未来について考えていきます。

学校経営や教育方法、「教科外領域」や新しい領域の指導を得意とする教職に強い教員養成を目指します。教育に関わる諸問題、たとえば、学力問題、教育をめぐる不平等、開かれた学校づくり、地域と学校の関係、教員養成・採用・研修と身分保障、諸外国の教育などについて、将来教員として広い視野から考え向き合っていくために求められる能力を養います。

また教育科学では、前・後期末に一回ずつ「教室協議会」を開催し、所属の教員と学生間の率直な意見交換を通して、協働して教育科学の民主的運営を実践しています。



## 主な授業科目

- 教育方法特殊講義
- 教育方法演習
- 教育史特殊講義
- 教育史演習
- 現代教育政策論
- 学校経営法規演習
- 教育社会学特殊講義
- 教育社会学演習
- 社会教育特殊講義
- 社会教育演習

## 主な研究テーマ

- 森本 洋介 (教育方法学)  
多様な教育方法と学習者の評価のあり方  
メディア・リテラシー教育
- 福島 裕敏 (教育史)  
学校の歴史・社会学的研究  
教員の専門性・専門職性
- 宮崎 充治 (教育学)  
総合的な学習  
演劇と教育
- 桐村 豪文 (教育行政学)  
教育政策の評価  
教育と政治
- 松本 大 (社会教育学)  
学校・家庭・地域の連携  
地域づくりと社会教育



# 発達心理のサブコース

入学後、発達心理のサブコースを選択できるコース。専修の学生

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースすべての専修

卒業所要単位で  
取得可能な教員免許状

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種  
高一種※

※所属専修の教科 P.6を参照  
ただし 地理歴史、公民、工業については卒業所要単位に追加履修することで取得できます。

発達心理では、教員免許を取得しつつ心理学を重点的に学ぶことを目指しています。心理学は人間行動の法則を探る厳密な科学的視点から、個々の人間をまるごととらえる視点まで、さまざまな角度から人間に迫ります。心理学概論や心理測定と統計などの基礎的領域の科目から、教育心理学や臨床心理学、社会心理学などの応用的な科目まで、幅広い分野の科目が開講されており、授業形態も講義や演習ばかりでなく、実習や実験などさまざまです。発達心理の学習演習室は、学生の自学自習を支援する機器(パソコン等)も備え、多くの学生が時間外の学習に利用しています。ここでの学習は自らの学びだけでなく、学年を超えた学生間の交流を深めるのにも役立っています。



## 主な授業科目

- 心理学概論Ⅰ
- 心理学概論Ⅱ
- 心理測定と統計
- 心理学基礎実習
- 心理学課題実験
- 心理学演習
- 臨床心理学
- 発達心理学
- 社会心理学
- 教育心理学

## 主な研究テーマ

- 田名場 忍 (教育心理学・生徒指導)  
パーソナリティ認知に関する研究
- 吉中 淳 (発達心理学・生徒指導)  
青年の自己理解・社会認識の研究
- 安達 知郎 (教育心理学・生徒指導)  
自己概念に関する研究
- 松田 侑子 (教育心理学・生徒指導)  
キャリア教育に関する研究



# 幼児教育のサブコース

入学後、幼児教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース

■ 小学校コース 幼一種※  
小一種

※卒業所要単位に追加履修することで、取得できます。P.6を参照

幼児教育では、幼稚園などで幼児と関わるために必要になる理論的・実践的知識を学ぶなかで、幼児一人ひとりの心の状態に関心を寄せ、幼児期の特殊性を尊重して幼児と共に成長して行くことのできる、柔軟で知的な好奇心豊かな学生の育成を目指しています。

幼児教育には、幼児心理、幼児教育の2分野があり、幼児に関連する様々な内容に関心のある分野からアプローチして学んでいくことができます。例えば、幼児心理分野では幼児と触れ合いながら、遊び・社会性・道徳性の発達、家族や友達との関係性の発達について研究することができます。幼児教育分野では、幼児の教育の理論や歴史、新しい幼児教育の展開の研究からアプローチできます。

なお、幼児を理解し適切な対応をとるための研究などもありますが、これらは両方の共通分野として考えられます。



主な授業科目

- 幼児教育学 ● 幼児教育学演習
- 幼児心理学 ● 幼児心理学演習
- 幼稚園教育課程論
- 幼稚園教育基礎論Ⅰ
- 幼稚園教育基礎論Ⅱ
- 保育内容指導演Ⅰ(健康)
- 保育内容指導演Ⅱ(人間関係)
- 保育内容指導演Ⅲ(環境・言葉)
- 保育内容指導演Ⅳ(表現)
- 保育内容指導演Ⅴ(表現)
- 幼稚園教育方法論
- 幼児理解と教育相談

主な研究テーマ

- 武内 裕明(幼児教育)  
幼児の保育・子ども観の研究
- 野寄 茉莉(幼児心理)  
子どもの社会性の発達に関する研究





# 国語教育のサブコース

入学後、国語教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち国語専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(国)  
高一種(国)※

※卒業所要単位に追加履修することで、取得できます。P.6を参照

国語教育には、日本語学(日本語の文法や歴史)、日本文学(古典や近現代文学)、漢文学(中国の文学や思想)、国語科教育(文学教育)を専門とするスタッフが在籍し、小学校や中・高の国語教員を目指す学生の指導にあたっています。小学校教員にとって国語を指導する力は必須であり、中・高の学校現場では実践的で高度な専門知識が求められています。国語専修全体の和気あいあいとした雰囲気の中、私たちスタッフは、児童・生徒の主体的な学びをサポートできる学生を育てるべく、真剣に取り組んでいます。



## 主な授業科目

- 国語科教育法[国語教育とは何かについて考えながら学びます。]
- 国語科授業論[授業をつくることについて学びます。]
- 国語科教材論[実際に教科書に載っている教材について学びます。]
- 日本語学Ⅰ・Ⅱ [日本語学の諸分野を概説します。]
- 日本語学演習[文学作品やその他文字資料を日本語学的に分析します。]
- 日本語学特論[文献を講読したり、特定テーマについて詳説します。]
- 日本文学[説話・物語や近現代の小説について学びます。]
- 日本文学史Ⅰ [日本語・書き言葉の成立について学びます。]
- 日本文学史Ⅱ [明治～平成までの小説を読み解き、文学史の展開を学びます。]
- 日本文学演習Ⅰ [古代の説話と物語について学びます。]
- 日本文学演習Ⅱ [近現代における児童文学の読解を行います。]
- 漢文学 [日本語における漢字の役割について学びます。]
- 漢文学講読 [諸子百家のテキストの読解を行います。]

## 主な研究テーマ

- 郡 千寿子 (日本語学)  
語彙史・文字史の研究
- 仁平 政人 (日本文学)  
近・現代文学の研究
- 吉田比呂子 (日本文学)  
日本文学の研究史・万葉集・古典文学の研究
- 山田 史生 (漢文学)  
東アジア漢字文化圏の文学・思想
- 鈴木 愛理 (国語科教育)  
文学教育の研究





# 社会科教育のサブコース

入学後、社会科教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち社会専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(社)  
高一種(地歴)※  
高一種(公民)※

※卒業所要単位に追加履修することで、取得できます。P.6を参照

社会科教育では各分野の専門的な学習を基礎とし、社会科の目標・内容・方法の理解、優れた教育実践の分析、模擬授業とその後の省察を通じて授業づくりの実際について学んでいます。

2年次からは、日本史、地理学、法学、政治学、社会学、社会科教育学の中からいずれかの分野を専攻し、4年次には卒業論文を作成します。

(分野は平成30年度現在)



下北半島における歴史・文化に関する調査



弘前市でのりんご農家への聞き取り



山形県鶴岡市での社会調査実習



弘前市の空中写真判読



講義中における教材研究

## 主な授業科目

- 日本史 ● 西洋史
- 地理学概論 ● 人文地理学
- 自然地理学 ● 地理学演習
- 法学概論 ● 政治学概論
- 社会学 ● 経済学 ● 哲学
- 公民演習 ● 社会科教育法
- 社会科授業論
- 社会科授業構成論
- 社会科教育演習

## 主な研究テーマ

- 大谷 伸治 (日本史)  
日本近現代史・政治思想史の研究
- 小岩 直人 (自然地理学)  
地形発達史・防災教育に関する研究
- 宮崎 秀一 (法学) (平成30年度まで)  
現代社会の諸課題と法
- 蒔田 純 (政治学)  
政治過程と若者の政治参加に関する研究
- 高瀬 雅弘 (社会学)  
現代社会の構造・文化の研究
- 篠塚 明彦 (社会科教育学)  
歴史教育の研究
- 小瑶 史朗 (社会科教育学)  
社会科教育の研究



Tuesday実習(大学での事前検討会)



Tuesday実習(附属中学校での実習)



Tuesday実習(実習後の検討会)



# 数学教育のサブコース

入学後、数学教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

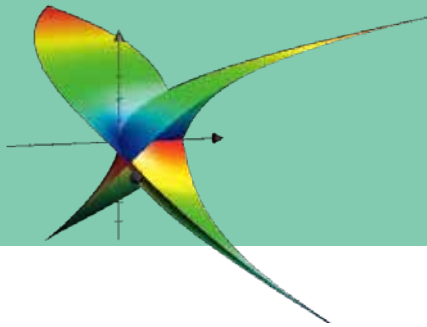
学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち数学専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(数)  
高一種(数)※

※卒業所要単位に追加履修することで、取得できます。P.6を参照

数学教育のサブコースでは、数学を通して、小学校、中学校及び高等学校の教師のあるべき姿について学びます。数学は、見えないものを見えるようにしてくれます。例えば、数や量、形が持っている普遍的な性質を代数学、幾何学及び解析学を通して学びます。

数学教育のサブコースではこれまで学んできた数学を組み立て直し、豊かで柔軟な数学を身につけていきます。本当の意味での数学を身に付けることで算数及び数学の授業を真に楽しく考えることのできる教師になってほしいと思います。



## 主な授業科目

- 数学基礎A ● 数学基礎B
- 論理・集合・写像
- 線形代数概論 ● 微積分概論
- 情報数学 ● 数論入門
- 変換と幾何学 ● 確率・統計入門
- 群論入門 ● 位相数学入門
- 偏微分・重積分 ● 統計学
- 代数学 I ~ IV ● 幾何学 I ~ IV
- 解析学 I ~ IV ● 応用数学 I ~ IV
- 数学科教育法 ● 数学科授業論
- 数学科教材論 ● 数学科教育方法論
- 数学演習 A ● 数学演習 B
- 数学演習 C

## 主な研究テーマ

- 上山 健太 (代数学)  
非可換代数幾何学
- 山本 稔 (幾何学)  
位相幾何学
- 伊藤 成治 (解析学)  
偏微分方程式論
- 岡部 考宏 (解析学)  
偏微分方程式論
- 田中 義久 (数学教育)  
算数・数学科の教材研究





# 理科教育のサブコース

入学後、理科教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち理科専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(理)  
高一種(理)

現在、社会における科学技術の重要性はますます高まっており、自然科学の知識を子どもたちあるいは社会に正しく伝えることのできる人材が求められています。理科教育では、物理学・化学・生物学・地学・理科教育についてそれぞれ専門のスタッフが在籍することを特色としており、自然科学を幅広く基礎から学ぶことができます。高等学校で履修しなかった科目についても、大学でしっかり勉強すればカバーすることは十分可能です。さらにさまざまな実験や野外実習を通して実践力を身につけ、卒業研究では各分野に分かれてより専門的な学習や研究を行うことができます。本サブコースで身につける自然科学の体系的な知識や考え方は、「子どもたちに理科の楽しさを伝えられる教員」や「科学的な知識をもって社会に貢献できる人間」をめざす上で大きな力になるはずです。



## 主な授業科目

- 理科教育法Ⅰ・Ⅱ ● 理科教材方法論Ⅰ・Ⅱ
- 基礎物理学Ⅰ・Ⅱ ● 基礎物理学実験
- 基礎化学Ⅰ・Ⅱ ● 基礎化学実験
- 基礎生物学Ⅰ・Ⅱ ● 基礎生物学実験
- 基礎地学Ⅰ・Ⅱ ● 基礎地学実験
- 物理学概論Ⅰ・Ⅱ ● 化学概論Ⅰ・Ⅱ
- 生物学概論Ⅰ・Ⅱ ● 地学概論Ⅰ・Ⅱ
- 物理学実験法 ● 化学実験法Ⅰ・Ⅱ
- 生物学実験法Ⅰ・Ⅱ ● 地学実験法Ⅰ・Ⅱ
- 野外実習Ⅰ～Ⅲ ● 地質巡検Ⅰ・Ⅱ

## 主な研究テーマ

- 山本 逸郎 (物理学)  
物理教材の研究、金属・半導体物性
- 佐藤 松夫 (物理学)  
理論物理、素粒子物理学、特に超弦理論
- 長南 幸安 (化学)  
科学(化学)教材の開発、エネルギー教育
- 島田 透 (化学)  
分光学、非破壊分析
- 大高 明史 (生物学)  
水生生物の分類と生態
- 岩井 草介 (生物学)  
分子細胞生物学、細胞内共生
- 佐藤 崇之 (理科教育学(生物学))  
理科教育の理論及び教材開発、環境教育



# 音楽教育のサブコース

入学後、音楽教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち音楽専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(音)  
高一種(音)

森羅万象の不思議が、あるとき、人間の精神、そして身体と結びつき、音楽が生まれました。自然環境から生まれた靈感が、人間の内側にイメージを生み、人間はイメージを具現するための動き(技術)を必要としました。このようなバランスの取れた営みを、嘗てギリシア人は、mimesis(模倣)と名づけたのです。音楽は、頭脳、精神、身体の幸福な共生によって成立します。故に音楽は、知性、理性の根源となる感性を育む、人間にとってとても大切な営みです。その営みを声楽、器楽、作曲、音楽学、音楽科教育を専門とする教員が指導します。音楽を聴く、音楽を演奏する、音楽をことばに置き換え思考する、などの包括的活動を通して、音楽の総合力を高め、教育実践の場に必要な人材を養成します。



## 主な授業科目

- ソルフェージュ I A ~ III D
- 歌唱(合唱および日本の伝統的な歌唱を含む)
- 独唱 I・II・III A ~ III D
- 合奏および和楽器
- 独奏および伴奏 ● 独奏 I・II
- 独奏(管楽器) III A ~ III D
- 独奏(ピアノ) IV A ~ IV D
- 指揮法 ● 音楽理論 I・II
- 作曲法 I・II ● 音楽学 I ~ IV

## 主な研究テーマ

- 和田美亀雄(器楽 トロンボーン)  
管楽器演奏法研究
- 杉原かおり(声楽)  
声楽演奏法研究: 歌曲・イタリアオペラ・宗教曲
- 今田 匡彦(音楽教育学)  
サウンドスケープ研究; 舞踊・身体論; 哲学
- 朝山奈津子(音楽学)  
西洋音楽史
- 清水 稔(音楽教育学・作曲)  
哲学・吹奏楽指導



# 美術教育のサブコース

入学後、美術教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち美術専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(美)  
高一種(美)※

※「卒業所要単位」に1～2科目程度上積みする必要があります。P.6を参照

絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術理論・美術史、美術科教育の分野において制作や理論研究を通して、芸術活動に親しみながら、感性豊かな人間の育成をめざしています。各種の教育実習を通して、中学校・高校教員(美術)になるために必要な幅広い経験と能力を養います。

また、地域の文化活動と連携し合いながら、これからのグローバルなアートシーンに対応できる創造的・知的、想像力豊かな「美術力」を培っていきます。

4年次には卒業研究や卒業論文を提出し、その成果を卒業制作展として大会館や学外のギャラリー・美術館で発表しています。卒業生には、小学校・中学校・高等学校美術教員、大学院進学者や、企業等におけるデザイナーや企画担当者、アニメーター、漫画家などとして活躍されている方がいます。



## 主な授業科目

- 素描 ● 絵画基礎 ● 絵画Ⅰ・Ⅱ
- 版画 ● 彫刻基礎 ● 彫刻Ⅰ・Ⅱ
- デザイン基礎 ● デザインⅠ・Ⅱ
- 美術史基礎(日本美術史)
- 美術史Ⅰ(西洋美術史)
- 美術史Ⅱ(近・現代美術史)
- 工芸基礎 ● 工芸史
- 美術科教育法
- 美術科教育法演習Ⅰ・Ⅱ
- 美術科授業研究

## 主な研究テーマ

- 石川 善朗(デザイン)  
工業デザイン(CG・製品デザイン)  
工芸デザイン(地域の工芸(青森県、日本)・作業の「もの作り」)
- 佐藤 光輝(デザイン)  
視覚デザイン、写真、版画、素描
- 出 佳奈子  
西洋美術史
- 蝦名 敦子(美術科教育)  
美術の教科性、教材論、日本画制作
- 富田 晃(美術科教育)  
美術教育の再創造、教材開発
- 塚本 悦雄(彫刻)  
彫刻制作





# 保健体育教育のサブコース

入学後、保健体育教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち保健体育専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(保体)  
高一種(保体)

保健体育教育では児童・生徒の身体の発育や運動機能の発達、運動生理学、体育心理学などの科学的知識と、教材となるスポーツの実技を授業の2本の軸として、より良い指導法を身につけた実践力を持った教員となれるように後押しをしています。

また日本海での遠泳や雪国必修であるスキーの合宿を伴う実習を通して、仲間との固い結束を大切にする、心身ともにタフな人材の育成を目指しています。



## 主な授業科目

- 陸上競技 ● 器械運動 ● 水泳
- スキー ● ダンス ● バドミントン
- バスケットボール ● 柔道
- 剣道 ● 体育原理 ● 体育心理学
- スポーツ運動学 ● 運動生理学
- トレーニング特論 ● 学校保健
- 保健体育基礎実験
- 体育科教育法
- 体育科教育方法論

## 主な研究テーマ

- 益川 満治 (体育学)  
ボールゲームの心理(指導法の開発)
- 戸塚 学 (運動学)  
体力評価と運動処方
- 清水 紀人 (保健体育科教育)  
授業方法・課題解決の理論と実践
- 杉本 和那美 (保健体育科教育)  
運動学習とパフォーマンス分析
- 高橋 俊哉 (学校保健)  
授業や部活動の事故について





# 技術教育のサブコース

入学後、技術教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち技術専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(技)  
高一種(工業)※

※[卒業所要単位]に、4科目程度追加履修する必要があります。P.6を参照

技術教育は、創造・工夫・発明する能力の伸長など、子どもたちの健全な発達に大きく貢献しています。しかし、普通教育の教科として技術教育を中心的に扱っているのは中学校技術・家庭科の「技術分野」のみです。技術専修では子どもたちに技術リテラシーを涵養する技術科教員の養成を目指しています。



## 主な授業科目

- 木材加工技術基礎
- 木材加工技術 A・B
- 木材加工実習 I・II ● 製図
- 金属加工技術基礎
- 金属加工技術 A・B
- 金属加工実習 I・II ● 機械技術基礎
- 機械技術 A・B ● 機械実習 I・II
- 電気技術基礎 ● 電気技術 A・B
- 電気実習 I・II ● 栽培技術基礎
- 栽培技術 A・B ● 栽培実習 I・II
- 情報技術基礎 ● 情報技術 A・B
- 情報技術実習 I・II
- 科学技術特殊講義 ● 職業指導

## 主な研究テーマ

- 上之園 哲也 (技術科教育)  
生徒の認知的実態に基づくカリキュラム開発
- 勝川 健三 (栽培)  
学校園における有用・地域植物の教材化  
球根花卉の生理生態解明
- 小山 智史 (情報技術) (平成30年度まで)  
ICTを活用した教材開発
- 櫻田 安志 (電気)  
物理・技術教育教材の開発



# 家政教育のサブコース

入学後、家政教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち家庭科専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(家)  
高一種(家)

私たちの生活は時代と共に変容し、便利になりました。しかし、大量のエネルギーを用いた生活は地球環境に大きな影響を及ぼしています。家庭科は衣食住、家庭経営、保育等、広い分野を含む私たちの生活を様々な視点からみつめ、意思決定できる生活者を育成する教科です。

家政教育のサブコースでは、未来の家庭科教育を担う教員を養成するため、各専門分野の教員が在籍し、学生が多面的で充実した学習、研究生活を送れる環境を整えています。



## 主な授業科目

- 家庭経営学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 食物学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 被服学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 住居学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 保育学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
- 家庭科教育法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
- 食物学実験実習Ⅰ・Ⅱ
- 被服学実験実習Ⅰ・Ⅱ
- 家庭経営学演習
- 住居学演習 ● 保育学演習

## 主な研究テーマ

- 日景 弥生 (家庭科教育) (平成30年度まで)  
家庭科の教材開発と実践  
家庭科教師の授業力育成
- 小野 恭子 (家庭科教育)  
家庭科教育における教材・授業開発  
持続可能な生活に関する研究
- 北原 啓司 (住居学)  
小中学校における住環境教育のあり方  
郊外住宅地のマネジメント手法
- 安川 あけみ (被服学)  
快適で機能的な衣服の開発と評価  
被服実験法の工夫と開発
- 李 秀眞 (家庭経営学)  
家族のライフステージと生活課題  
家庭内の資源配分と家族関係





# 英語教育のサブコース

入学後、英語教育のサブコースを選択できるコース・専修の学生

卒業所要単位で取得可能な教員免許状

学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻 小学校コース  
または中学校コースのうち英語専修

- 小学校コース 小一種
- 中学校コース 中一種(英)  
高一種(英)

英語学、英米文学、英語コミュニケーション、英語教育学、比較文化等の授業を通して、英語および英語教育学の知識・理解をより深め、国際理解も兼ね備えた21世紀にふさわしいオールラウンドな英語教師を育成することを目指しています。中学校・高等学校における英語教育のみならず、早期外国語教育に関する理解も深め、高等教育に学ぶ者として一貫性のある視点から言語教育のあり方を考えます。学びを共有し合う学生・教員間の協働、学年を追って展開される多様な教育実習などを通して、優れた英語指導者になるために必要な専門的資質・能力や実践的指導力を育み成長することができます。在学中、短期留学(メイン州立大学、3週間)又は長期留学(米国、カナダ、ニュージーランドの協定校合わせて8校、10ヶ月)を奨励しています。



## 主な授業科目

- 英文法Ⅰ・Ⅱ ● 英語学演習Ⅰ・Ⅱ
- 英語学講読Ⅰ・Ⅱ
- 英語学特殊講義Ⅰ～Ⅳ ● 英語音声学
- 応用言語学 ● 英米文学史Ⅰ～Ⅳ
- 英米文学講読Ⅰ・Ⅱ
- 英米文学演習Ⅰ・Ⅱ
- 英米文学特殊講義Ⅰ～Ⅳ
- コミュニケーションⅠA・ⅠB
- コミュニケーションⅡA・ⅡB
- コミュニケーションⅢA・ⅢB
- 英語作文Ⅰ～Ⅲ ● 比較文化

## 主な研究テーマ

- 野呂 徳治 (応用言語学)  
外国語学習のプロセスとその要因に関する研究
- A.S. ラウシュ (英語コミュニケーション)  
小学校英語教育の研究
- 佐藤 剛 (英語教育学)  
英語教授法、語彙習得
- 近藤 亮一 (英語学)  
英語構文の共時的・通時的研究
- 土屋 陽子 (英米文学)  
19世紀-20世紀 アメリカ文学・文化





# 実践力の強化 長期継続型実習

## 教育現場で気づく自らの成長と課題

弘前大学教育学部は、これまで教育実習の充実・体系化を図ってきました。それは、実際に教育現場を体験する中で、これまで大学の講義等で学んできた知識や技能等を試し、自分の成長と課題を知り、さらなる成長に向けて努力していった欲しいと思っているからです。

## 1年次から教育現場で学ぶ

教育実習は、1年次から始まります。「いきなり子どもたちを前にして授業をするのですか?」と心配になる人もいるかもしれませんが、実際に教壇に立って授業を行うのは3年次になってからです。それまでは、大学の講義等を受けながら、1年次の「教職入門」や2年次の「学校生活体験実習」で、授業を見学したり、子どもたちと一日を過ごしたりしながら、子どもたちの様子や先生の仕事に対する理解を深め、授業のイメージを徐々に作っていきます。また、「事前事後指導」では、実習先の附属学校園の先生方から教科等の具体的な指導のあり方について話を聞く機会もあります。

## 長期継続型実習で子どもの成長を深く理解

先生の仕事は、一人ひとりの子どもたちの成長を築くことです。この成長は、一般的に行われている短期間集中の教育実習ではなかなか見えにくいものです。そこで、弘前大学教育学部では、3年次「Tuesday実習」・4年次「学校サポーター実習」を、それぞれ従来行っていた2週間集中の「集中実習」「研究教育実習」の前後に導入しました。

学生はおよそ9ヶ月にわたって定期的に学校現場へ通う中で、子ども一人ひとりの成長を大切にしたい教員を目指します。

## 他校種・学校外教育との関わりを視野に

現在、幼小中連携、学校教育と社会教育との融合など、他校種・学校外教育との連携が強く求められています。

4年次の「卒業要件外(副免)実習」では、自分の主とする校種以外の学校で教育実習を経験することができます。実習を通じて、子どもの成長や教育活動に対する幅広い見方・考え方を学んでいきます。

## より円滑な教職生活のスタートに向けて

教育実習は、これまで学んだことを試し、自らの成長と課題に気づくための大切な契機です。特に3年次の「事後指導」で明らかとなった自らの到達点と課題は、4年次の「教職実践演習」において補充・深化・統合させていくことが期待されます。4年次の「研究教育実習」「学校サポーター実習」は、この「教職実践演習」のフィールド研究としての意味を持っており、それにより、実践的指導力の向上を図り、教職生活をより円滑にスタートすることを目指しています。

1  
年次

教職入門

介護等体験実習

地域コラボ  
レーション  
演習 I・II

2  
年次

学校生活体験実習

3  
年次

事前指導

集中実習

Tuesday 実習

事後指導

4  
年次

研究教育実習

学校サポーター  
実習

卒業要件外  
(副免) 実習

教職実践演習

実線枠=必修 点線枠=選択



## 教わる側から 教える側へ

1～2年次

### 教職入門

前半2日は大学教員の講義と現職教員の講話です。後半2日は公立の小学校と中学校とに授業参観に行きます。あらためて「教える立場」から学校現場を経験し、教員への適性や希望校種について考えます。

### 介護等体験実習

教育の根本にある「ケア」について、特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間の実習を通じて学びます。

### 学校生活体験実習

附属学校園において5日間終日過ごす中で、授業だけでなく、学級活動や学校行事などの観察や参加を行います。また、教育実習中の3年次の先輩たちの授業も見学し、来年度の自分をイメージする機会でもあります。

## 子どもとともに

3年次

### 集中実習

おもに大学の夏休み期間中に2週間集中的に行われる実習です。ここでは、実際に教壇に立って授業を行います。

### Tuesday実習

集中実習を挟む形で、4月～12月にかけて火曜日の午後、定期的に附属学校で行われる実習です。前期は、数ヶ月後に行われる集中実習で児童生徒を活かした授業ができるよう、授業観察に主眼がおかれています。後期では、集中実習における課題に再度チャレンジする機会にもなっています。

## 学校の一員としての 自覚の芽生え

4年次

### 研究教育実習

4年次の「研究教育実習」と「学校サポーター実習」は、それぞれ3年次の「集中実習」「Tuesday実習」の発展版です。そのうち研究教育実習は、公立学校において2週間集中で授業を行います。

### 学校サポーター実習

近隣の公立学校で、10ヶ月にわたって週一回終日、学校スタッフの一員として、授業や学級活動等の手伝い等をする中で、教員としての実践的な指導力を高めていきます。

### 教職実践演習

3年次の「事後指導」で明らかになった到達点と課題を踏まえて、教員として必要最小限の知識・技能の定着を目的とした演習主体の授業です。





# 実践力の強化

## 地域協働型 教員養成プログラム

本学と県および各地域の教育委員会をはじめとする機関が連携するシステムを基に、地域における諸種の体験や実践、本学教員が専門性を活かし各地域で取り組んでいるさまざまな地域連携を活用することで、より高い人間性と柔軟な思考力を持つ教員養成を目指します。

### キャリアサポート実習



青森県教育委員会が主催する高校生のキャリア形成を支援するワークショップ「キャリアサポ」に参加することによって、以下に示すような対人関係スキルを向上させます。

#### ○コミュニケーション

- ・心のシャッターを開けるスキル
- ・聴き上手になるスキル
- ・気持ちを伝えるスキル

#### ○コーチング

- ・聴いて受け止めるスキル
- ・発問して引き出すスキル

#### ○ファシリテーション

- ・場をつくり、つなげるスキル
- ・話し合いを活発化するスキル



#### ○ワークショップ

県立高校の現場で実践します。将来について語り合うなど、楽しく和やかな雰囲気が進められます。

#### ○ワークショップ実施校

県立高校21校、私立高校4校

#### ○県内各大学との交流

大学生参加数のべ1,082名

(H29年度実績)



### 向き合うきっかけをつくる



幼い頃は、歳を重ねれば人は自然と“大人”になれるものだと思っていました。

中学生のときは高校生が、高校生のときは大学生が…うんと大きくキラキラして、別世界の人のようにさえ見えたけれど、歳を重ねても相変わらず私は私のままで、大学生になった今でも、自分が本当にやりたいこと、将来のこと、考えれば悩みは尽きず。きっと誰もがもがき、迷い続けながら生きているのだと思います。

それでも、高校生だった頃よりも分かるようになったことは沢山あります。失敗したこと、悔しかったこと、何かに立ち向かったこと、嬉しくて仕方がなかったこと。過去は全て今に繋がっているのだと教えてくれたのはこの活動です。大学生の私たちだからこそ高校生に響く言葉があり、高校生との出会いは、私たちの力になります。ワークショップは数時間ですが、その中で一人でも多くの高校生が将来について考えるきっかけを掴むことを目標に。私たちが寄り添い、“大人”になるために一緒になって悩み抜くこと。答えが見つからなくてもいい、自分の可能性に気づいてほしい。キャリアサポは、みんなが未来へ向かって本気になれる場所です。

国語専修 海老名 晶弓

### 地域コラボレーション演習Ⅰ・Ⅱ



平成25年度から実施している地域協働型教員養成プログラムで、弘前市や、近隣市町村の教育委員会の関連行事や公民館における教育実践活動、または本学部教員と地域との協働プロジェクト等に積極的に参加し、学校教員として必要な高い人間性と柔軟な思考力を養成します。

### 地域住民との交流

僻地体験や近隣地域における学習ボランティア、公民館活動や子ども会支援等の教育活動への参加、地域社会とかわりの深い実習の充実を図るなど、教育的観点から大学と地域住民との交流を盛んに行います。

# 附属学校園

## 実りある教育実習に向けて

教師としての専門性育成と実践力向上を図るため、教育学部は附属4校園と連携して、未来に伸びゆく子どもたちと共に学ぶ、充実した教育環境を提供しています。

### 附属幼稚園

附属幼稚園では、3歳から5歳までの園児約90名をお預かりし、「幼児に適切な環境を与えて、その心身の調和的発達を助長すること」を目的とし、日々教育活動を行っています。

教育実習では、それぞれの園児の発達段階に即した教育の仕方を自由な遊びや一斉活動の中で実際に体験し、理論と実践の統合を図る機会となるでしょう。子ども達と一緒に生活する中で、元気いっぱい遊んでいる姿や、子どもなりに考え一生懸命取り組んでいる姿に素直に驚き、また、子ども達の輝きから元気をもらい、子ども達の成長した姿に喜びを感じることができます。



### 附属小学校

附属小学校では、「強く 明るく 豊かに」を教育目標に掲げ、全教職員による協働態勢のもとでその具現化を図るとともに、児童一人ひとりの理解を深め、温かな心の結びつきを基調とした教育活動を行っています。

教育実習においては、教育学部との連携を図りながら、実習生が児童との触れ合いを通して教職に対する理解を深め、実践を通して専門性を身につけてほしいという願いをもって指導に臨んでいます。

実習に際しては、児童の前では一人の教師であるという自覚を持ち、誠実な態度で児童と向き合ってください。今の自分に出来る精一杯の力を尽くすことで、教職を目指す上での道標が見えてくることでしょう。



### 附属中学校

附属中学校では、「自主 創造 気品」を教育目標とし、知、徳、体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成を目指して、日々の教育活動を行っています。その中で「生きる力」である「根っこ精神」を育むための指導や支援を行っています。

教育実習では、実習生全員が教師としての高い資質と適性を身につけて教壇に立ってほしいという強い願いから、本校教員が、丁寧に、時には厳しく、学生の指導にあっています。本校での実習経験は、将来は必ず教師になろうという強い思いを抱かせる、大学生活の忘れられない一場面になるものと確信しています。

### 附属特別支援学校

附属特別支援学校では、知的に障害のある児童生徒一人ひとりの実態や個性に応じて、きめ細かな教育的支援を行っています。

教育実習は、児童生徒との直接的な関わりを通して個々の障害の状態や特性を理解すると共に、個に応じた指導や支援のあり方を実際に体験することができる絶好の機会といえます。

実習にあたっては、探究心と創造性を持って臨んでください。新たな気づきや課題を発見できる充実した実習になることでしょう。実習を通じて、学生のみなさんが自分にとって大切な何かを発見できることを期待しています。





# 附属教育実践総合センター

## 学生の実習や教員の教育実践を支援

学校や社会教育施設などと連携し、実践的指導力を持つ教員の養成を目指すとともに、地域社会の教育活動の支援を行っています。

### 教育実習部門

1年次から4年次まで、学年進行に合わせた教育実習関連の科目を担当する部門です。学年間の切れ目ない教育現場との関わりを特色として行っている実習は、弘前大学教育学部の大きな特徴です。附属学校園や一般公立学校で行われる一連の実習では、大学で学んだ事柄を試し、実習で明らかになった課題の解決のために大学での学習を続ける、という過程を通じて実践力を養います。特に一般公立学校で4年次に行われるサポーター実習は、現場の先生方からも好評です。



### 教職実践演習部門

教員養成の導入と総仕上げに関する授業科目を担当する部門です。1年次の「教職入門」では、あらためて「教える立場」から教員の仕事について学び、自分はどの校種の教員になりたいのだろうか、これから何を学んでいけばよいのだろうか等を、講義や小・中学校での授業観察を通して考えます。4年次の「教職実践演習」は、これまでの大学での学習や教育実習の経験を踏まえて、教員になるために何が課題なのかを考え、不足している知識や技能を補っていくものです。またこの「教職実践演習」の前後に、自らの目指す教員像について考える「教職実践基礎演習」、キャリア教育や通常学級における特別支援教育など現代的教育課題について学ぶ「教職実践発展演習」があります。この二つの科目は、弘前大学オリジナルの科目で、教員を目指す学生が3年次教育実習から卒業まで中断なく、実践的な内容について学び考える機会となっています。

### 学修支援部門

教育実習をはじめとする大学の授業に不安を持つ学生や、障害などで勉強を続けるのが難しくなっている学生を支援するための部門です。教育相談等に専門的な知識や経験を持った教員が、学生の所属するゼミの教員などと連携して対応する仕組みを作っています。教育実習に不安を感じている学生には、事前に、面接による相談を行っています。

# 附属教員養成学研究開発センター

## 教員養成学の新たな展開をめざして

### 専任教員の主な研究テーマ

■ 吉崎 聡子 (教育心理学)  
キャリア発達・青年の動機づけ

「教員養成学」とは、大学における教員養成を体系的・組織的に行うため、「どのような教員養成カリキュラム」を「どのような体制」のもとで行っていくのかについて実践と研究の両面で考えていく学問です。

平成15年10月の発足以来、教育実習関連科目の体系化や教職実践演習の開発などに取り組んできました。また、教員養成カリキュラムのもとで、どのような教員が育っているのかについて検証し、その成果を生かして、よりよい教員養成のあり方を模索しています。

更に近年は、教育実践協同研究推進委員会と共催による、現職教員対象の講演会を開催しています。



# 特別支援教育センター

## 障害のある子どもたちへの教育支援のあり方を知り、実践する役割を担う

本センターは、平成16年度に主として障害のある子どもの保護者や教員などの相談に応じることを目的として設置された特別支援教育相談室を母体にして、これに教員等の研修機能を加えて平成17年度に設けられました。センターは、学校教育講座特別支援教育分野と附属特別支援学校が連携して運営しており、教育相談は、主に特別支援教育分野の教員、附属特別支援学校の教員が相談員を担当しています。また、相談補助員として大学院生や教育学部の学生などが加わっており、学生にとって障害のある子どもたちと関わる大切な機会になるとともに、教員としての力量形成に役立っています。



# 国際音楽センター

## 国際的視野から音楽文化の振興を

平成17年5月に発足した国際音楽センターは、教育学部附属施設として音楽に関する教育および実践研究を行い、弘前大学並びに教育学部の進展と地域における音楽文化の振興に資することを目的とし、(1)外国の音楽家・研究者との交流、(2)音楽教育の振興、(3)地域の音楽に関する調査および情報の収集、(4)その他音楽に関すること、の業務を行っています。

本センターは、今田匡彦(代表・音楽教育および作曲)、和田美亀雄(トロンボーン)、杉原かおり(声楽)の3名の教員と協力教員で構成されており、学生も交えながら事業展開を行っています。





# 国際交流

## 海外へはばたくために、自分磨きにチャレンジ メイン州立大学異文化コミュニケーション集中講座（メイン・プログラム）

教育学部では、できるだけ多くの学生に留学の機会を提供するため、毎年2月中旬から3月上旬にかけて3週間の日程で、本学の姉妹校であるメイン州立大学（アメリカ合衆国メイン州オロノ）において学部教員の引率の下に短期語学研修を行っています。参加者には「言語教育演習」と「国際理解教育」または「比較文化」のそれぞれの単位が与えられます。経費の自己負担は約40万円（平成29年度）です。

短期留学の効果としては、まずは英語力の向上が見込まれます。参加者の中には、英語圏の大学に留学する際に課される国際的な英語能力テストであるTOEFLの点数が大幅にアップする学生も毎年何名か出ています。また、短期間ではありますが、異文化に直接触れる機会を持つことで、将来、国際人として大きく羽ばたく第一歩を踏み出す契機ともなります。

このプログラムの参加資格として英語力が問われることはありません。プログラムに参加することで英語力を高めることが目的なのです。

詳細については、このプログラムのホームページをご覧ください。

<http://siva.cc.hirosaki-u.ac.jp/usr/norotoku/maine/>



## 学生交流に基づく交換留学について

弘前大学では、現在、世界17の国・地域における、合わせて41の大学と大学間協定を結んでおり（平成29年12月現在）、平成29年度では10カ国・地域へ70名の学生を送り出す一方、19カ国・地域から169名の留学生を迎え入れており、国際連携本部を中心として積極的な国際交流に取り組んでいます。

## 弘前大学国際連携本部 / サポートオフィス 充実した海外留学を実現するためのサポート

国際連携本部 サポートオフィスは、総合教育棟2階南側（イングリッシュラウンジ向かい）にあり、本学における留学生交流を推進するとともに、協定校を中心とした教員の研究交流や職員の実務研修、地域の国際交流の支援をしています。

海外の大学等に留学を希望する本学生に対し、協定校のパンフレットおよび留学情報誌、帰国生による留学体験記を揃え、留学に関する情報提供のほか、留学相談を行っています。



# 弘前大学大学院 教育学研究科

教育学研究科は「学校教育専攻(修士課程)」及び「教職実践専攻(教職大学院)」の2専攻から構成され、それぞれのコースの特性により、高度な教育実践の資質能力を備え、学校教育現場や地域における教育の先頭に立つ人材の育成を目指しています。

「学校教育専攻」は、教育科学、特別支援教育、そして各教科の専門領域における教科実践について精深な教育・研究指導を行い、学問的な視点から様々な教育諸課題に対応できる人材を育成します。

「教職実践専攻」は、「教職大学院」(次項参照)としての機能を有しており、学校現場や地域のニーズを敏感に捉え、確かな教育理論に基づいた教育実践力により、それぞれが抱える教育課題への確かな対応ができる人材を育成します。

本研究科では、所定の単位を修得することにより、各種・領域の教諭一種免許状を有している場合には、それぞれの上位免許状にあたる専修免許状が取得できます。また、修了時に「学校教育専攻」では修士(教育学)、「教職実践専攻」では教職修士(専門職)の学位が授与されます。(「学校教育専攻」を修了するには修士論文の提出が必要です。)

この他、本大学院教育学研究科(学校教育専攻のみ)では、職業を有している方のための授業料負担を軽減する「長期履修制度」や、大学院在学中に新たに教員免許の取得を希望する学生や社会人の方等を対象とした「教育職員免許取得プログラム」を用意しています。

## 教育学研究科

### 学校教育専攻(修士課程)(定員16名)

#### 教育科学コース

教育科学領域

#### 特別支援教育コース

特別支援教育領域

#### 教科実践コース

国語教育領域

社会科教育領域

数学教育領域

理科教育領域

音楽教育領域

美術教育領域

保健体育教育領域

技術教育領域

家政教育領域

英語教育領域

### 教職実践専攻(教職大学院)(定員16名)

#### ミドルリーダー養成コース

教育実践開発コース



## 大学院とは何でしょうか？

簡単に言うと、大学を卒業した人が学部で学んだことを基礎にして、さらに専門的な研究を重ね、より深く勉強するところです。

大学院へは、学部(博士課程の場合は大学院修士課

程)から直接進学することもできますし、職に就いてから現職教員や企業人など社会人として入学することもできます。そして、定められた授業科目の単位を修得し、さらに学位論文等の審査に合格すると修士(専門職学位を含む)や博士の学位が授与されます。



# 教職実践専攻 (教職大学院)

## 1. 開設の目的

青森県が直面している教育課題に対して、理論と実践との往還・融合を通じた省察をもとに、学校内外の専門家と協働しながら、その解決に向けた教育実践を創造しリードしていく教員を養成します。

## 2. 設置コースと養成する教員像

### ミドルリーダー養成コース

対象	教員像
原則として青森県教育委員会が派遣予定の公立学校教員	校内研修、地域連携、教材開発などの課題に、他者と共に創造的に取り組むうえで中心となるミドルリーダー

### 教育実践開発コース

対象	教員像
4年制大学を卒業もしくは3月末までに卒業見込みで、教員免許を取得もしくは3月末までに取得見込みの者	教育課題に対応するための理論と事実に基づいた確かな実践力・省察力を持つ若手教員

## 3. 教育課程等の特色

- 「基礎科目」「独自テーマ科目」「発展科目」「教育実践研究科目」「実習科目」からなる「理論と実践との往還・融合」を担保するカリキュラム編成
- 「独自テーマ科目」として、青森県教育委員会から要望のあった環境教育、健康教育の科目を開設
- 「教育実践研究科目」「実習科目」は、理論と実践との往還・融合をより確かなものにするものとして関連性を持たせ、附属学校園や連携協力校、勤務校などでの実習を通して教育課題の追究・解決・検証を実践的に行う

## 4. 16名の専任教員による充実した指導体制

教職実践専攻(教職大学院)では、入学定員と同数の16名の専任教員(9名が研究者教員、7名が実務家教員)を中心として、手厚い指導を行っていきます。この他、弘前大学教育学部・他学部教員からなる兼任教員38名を擁する充実した指導体制を整えています。

## 研究科長メッセージ

### 教員養成の最強チームを目指して

弘前大学教育学研究科教職実践専攻(教職大学院)は、青森県教育委員会との連携協力を礎に平成29年4月に開設しました。教職大学院では、学校現場や地域のニーズを敏感に捉え、それぞれの抱える教育課題への的確な対応ができるよう、教育理論と実践的指導力を併せ持った教員の養成を目指しています。学部卒学生を対象とした「教育実践開発コース」と現職中堅教員を対象とした「ミドルリーダー養成コース」の2つのコースがあり、いずれのコースも、16名の専任教員と教育学研究科をはじめ学内の5研究科3研究所の兼任教員とともに、オール弘前大学体制で教育・研究指導を行います。

本学では、教職大学院設置の理念である「理論」と「実践」の往還・融合による教育課題解決力のブラッシュアップを、大学院生と教職員スタッフが一つのチームになって実現可能にします。院生個々のキャリアのバックグラウンド、そして教育課題設定は異なるものの、豊富な実務経験を有する教員や最先端の実践研究に取り組む教員が、あるときはコーチとなり、また、あるときはベテラン選手となり、中堅選手である現職教員院生やルーキーである学部卒院生とともに、日夜、教育課題の解決に向け切磋琢磨しています。その姿は、あたかも教員養成の最強チームを目指す姿に例えることができましょう。

これからの学校教育は、学校内はもちろんのこと、地域の方々の連携を含めたチームとしての機能が重要視されます。本教職大学院では、それぞれの組織における各世代のリーダーとして活躍できる人材を育成します。皆さんも、是非、われわれのチームに加わりませんか。岩木山の麓、すばらしいフィールドを準備して、皆さんのご入学を心よりお待ちしております。

弘前大学大学院教育学研究科研究科長

戸塚 学

## 教職実践専攻(教職大学院)専任教員

### 【研究者教員】

氏名	専門分野
中野 博之	教科教育学(算数)
上野 秀人	教科教育学(保健体育)、教育課程
小林 央美	養護教育学、健康教育、危機管理
中妻 雅彦	教育方法学、教師教育学、教科教育学(社会科、総合学習)
福島 裕敏	教育社会学、教師教育学
三浦 智子	教育行政学、教育経営学
吉田 美穂	教育社会学(教員文化、キャリア教育)
吉原 寛	生徒指導、教育相談
森本 洋介	教育方法学

### 【実務家教員】

氏名	専門分野
瀧本 壽史	教科教育(社会)、日本近世史(北奥地域史)
三上 雅生	教科教育(英語、道徳)、学校経営
小寺 弘幸	教科教育(保健体育)、学校経営
古川 郁生	教科教育(数学)、特別活動、学校経営
敦川 真樹	特別支援教育、教育相談
三戸 延聖	教科教育(国語)、学校経営、危機管理
成田 頼昭	教科教育(国語)、教育課程

# 福利厚生

## 授業料等

学生区分	授業料(年額)	授業料(半期)	入学料	検定料
学部学生	535,800円	267,900円	282,000円	17,000円
大学院生	535,800円	267,900円	282,000円	30,000円
研究生	356,400円	178,200円	84,600円	9,800円
科目等履修生	一単位 14,800円		28,200円	9,800円
聴講生	一単位 14,800円		28,200円	9,800円

注意：平成29年度授業料です。在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

別途教科書、辞書、参考書代が必要になります。(2万～5万円/年)



## 入学料免除・徴収猶予(延納)

入学前1年以内において、学資負担者が死亡又は風水害等の災害を受けるなど特別な事情により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合又は入学料の納付期限までに納付が困難であると認められる場合には、本人の願い出により選考のうえ、入学料を免除又は入学料の徴収の猶予(延納)を許可されることがあります。



## 授業料免除・徴収猶予(延納および月割分納)

経済的理由等によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる場合は本人の願い出により選考のうえ、免除又は延納・月割分割を許可されることがあります。

免除等を希望する方は、入学手続きの際に必要な書類を添えて申込みしていただきます。合格発表から入学手続きまでの期間が短い入学試験もあるので、必要書類は、あらかじめ本学の学生課へ請求しておく必要があります。各学生募集要項で詳しい請求方法を案内していますのでご覧ください。





## 充実したキャンパスライフのために、様々なサポート体制を整えています。

### 奨学金

学業・人物ともに優秀かつ健康であって、経済的理由により修学が困難と認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、奨学金が貸与されます。

**【日本学生支援機構】**日本学生支援機構の奨学金制度には、第一種奨学金（無利息の奨学金）と、第二種奨学金（利息付の奨学金で在学期間中は無利息）とがあります。第二種奨学金は卒業後、年3%を上限とする変動金利で貸与金を返還する制度です。なお、貸与月額等は表の通りです。日本学生支援機構の他にも、地方公共団体や民間団体等の奨学金制度があり、大学の推薦によるものと直接本人の申請によるものがあります。貸与又は給付される奨学金は、月額20,000円～51,000円程度です。なお、団体等によっては、日本学生支援機構との重複採用を認めないところがあります。

区 分	第一種奨学金	第二種奨学金（きぼう21プラン）
貸与月額	45,000円（自宅通学者） 51,000円（自宅外通学者）	30,000円、50,000円、80,000円、100,000円、 120,000円から希望する金額を選択

### 補 償

**【学生教育研究災害傷害保険】**正課中、学校行事に参加している間、キャンパス内における休憩中の不慮の事故、通学中に傷害を受けた場合、医療保険金等が支払われます。

**【学生教育研究賠償責任保険】**正課中、学校行事およびその往復途中、インターンシップ、介護体験活動、教育実習、学校管理下でのボランティア活動、保育実習およびその往復途中で、他人にけがをさせたり他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償します。

### 学 寮

本学では、自宅から通学できない学生のために学寮を設置しています。

学寮は、学生の勉学に適する環境において自主的に規律された共同生活を体験させ、これを通じて人間形成に資する課外教育施設としての目的をもっています。1ヶ月当たりの経費は各寮とも月額約30,000～42,000円です。主な内訳は、寄宿料、食費（朝夕2食）、炊事人件費、光熱水料等です。寄宿料以外の経費は、寮によって差があります。食事は朝夕2食ですが、日曜日は2寮とも、北溟寮は祝日も食事ができません。

学寮名	対 象	定 員	構 造	室 数	住 所
北溟寮	男子	106人	鉄筋4階建 1人部屋	106 室	弘前市緑ヶ丘1-8-4 (教育学部のある文京町キャンパスまで 1.8km)
北鷹寮	男子	200人	鉄筋5階建 2人部屋	100 室	弘前市学園町1-1 (教育学部のある文京町キャンパスまで 2km)
朋 寮	女子	234人	鉄筋5階建 2人部屋	117 室	

# 課 外 活 動

課外活動は、学生が自主的に行う活動であり、教養を高める上でも社会の一員として必要な資質を身につける上でも、大切な役割を担っています。また、課外活動を通じて得られる様々な体験や学部学科を超えた友人関係の構築など一生忘れることのできない素晴らしい思い出になります。

青字の団体は教育学部教員が顧問を務める団体です。

## 文化系クラブ・サークル

囲碁部  
映画研究会  
M・C・Q  
学祭本部実行委員会  
環境サークルわどわ  
クラシックギタークラブ  
クロスカルチャークラブ  
劇研マップレス  
劇団プランクスター  
お笑いサークル WPS  
混声合唱団  
さくらボランティア  
表千家茶道部  
SaBoTen  
新歓本部実行委員会  
児童文化研究部 KIDS  
シミュレーション同好会  
JAZZ研究会  
全学写真部  
書道部  
書道クラブ  
スティールパン部  
聖書研究会  
新学期 .com  
津軽三味線サークル  
天文同窓会 COSMO  
Teens&law  
陶芸倶楽部  
フィールドサイエンス研究会  
パフェサークル明和荘  
弘前大学吹奏楽団  
美術部  
ひまわりサークル  
弘大ラジオサークル  
弘前大学マンドリン倶楽部  
弘前大学かるた会〜ききょう組〜  
弘前・スライド・ミュージック  
弘前大学保健室サークル  
フィルハーモニー管弦楽団  
文芸部  
僻地教育研究会  
アカペラサークル V,E,L  
邦楽愛好会  
Popular Music研究会  
漫画研究会  
大道芸サークル Mocha  
野鳥の会  
Light Music Company (L.M.C)  
ROCK OFFICE  
ロボティクス研究会  
キャリアサポート研究会

弘前大学グラスハーブアンサンブルアンジュリーク  
SALAD HOUSE  
農家・農村サポートスクール TEAM DANBURI  
JoKER  
p.o.k.e  
将棋部  
弘大囃子組  
手話サークルひだまり  
Hug  
Hiromaru  
カラオケ同好会☆歌魂♪  
Milky Way  
動画制作サークル KAGA  
ハロプロ研究部つくく♫らぶ  
学生委員会  
PC活用講座大学生生活応援塾  
華道部  
えいごづけ  
イラスト同好会 api  
ポットナス  
クイズ研究会  
弘前大学鉄道研究会  
FISHIERS  
モノ作りサークル GOGG  
弘大 Hub's  
いしてまい  
ダーツサークル INBULL  
スペイン語サークル  
MushRoom  
N.B.SQUAD  
弘前学生 BBS会  
お天気サークル WBG (Weather Boys and Girls)  
手芸サークル couture  
放送サークル  
ヨガサークル Allure -アリュール-  
競技ロボット製作所  
弘大翻刻部  
学生地域団体 Smoothie  
ピアノの会  
らぶちる -Love for children-  
手仕事サークル  
ボランティアサークル おひさま  
ぶよぶよサークル

## 体育会系クラブ

合気道部  
アーチェリー部  
アメリカンフットボール部  
居合道部  
空手道部  
器械体操競技部  
弓道部

競技スキー部  
競技ダンス部  
剣道部  
硬式庭球部  
硬式野球部  
サイクリング部  
サッカー部 (男女)  
山岳部  
女子ソフトボール部  
柔道部  
少林寺拳法部  
水泳部  
ソフトテニス部  
卓球部  
探検部  
男子ソフトボール部  
テコンドー  
軟式野球部  
バスケットボール部 (男女)  
馬術部  
バドミントン部  
バレーボール部 (男女)  
ハンドボール部 (男女)  
ボウリング部  
ラグビーフットボール部  
陸上競技部  
ワンダーフォーゲル部

## 体育会系サークル

ストリートダンスサークル A.C.T  
アダプテッドスポーツサークル爽 SO〜  
オールスターテニスサークル  
サッカー券  
総合格闘技サークル  
テニスサークル NASA  
軟式野球サークルミーツ  
ベアーズ  
Free Wave  
全学バドミントンサークル  
弘前大学よさこいサークル HIRODAI 始舞陣  
翔☆Time  
MET  
どんだんず (軟式野球)  
ソフトテニスサークル Orange  
HOT SHOT  
古武術研究会  
弘前大学スポーツチャンバラ同好会  
フット猿  
弘前大学ぺんぎんず  
なぎなたサークル・なぎなぎ  
プロメテウス  
クリスタルカイザー



# 就職状況・進路

充実した就職支援体制で、学生一人ひとりに対応します。

## 教育学部学生の進路

教育学部では青森県をはじめ東北各県や北海道、さらには首都圏などの小・中・高等学校及び幼稚園、特別支援学校に多くの教員を輩出してきました。また、企業や公務員に就職する学生や、大学院に進学する学生もいます。

## 就職・進学状況

### ●学校教員

近年、少子化による学校統廃合が益々進められるなど、学校を取り巻く環境は社会変化とともに変わってきています。教員志望の学生にはこのような変化への対応も求められています。青森県や東北各県の公立学校教員採用は、以前は競争率20倍ということもありとても狭き門でしたが、近年は、採用数は増加傾向にあります。また、首都圏では大量採用期はピークを過ぎ、減少傾向にあります。弘前大学では、教員として優れた実践力を発揮することが期待できる学生を首都圏を中心に教育委員会に推薦しています。これを活用して教員になる学生もいます。教職支援室の指導も充実し、正規採用の教員の割合は増加しています。

### ●企業・公務員

企業への就職は、ここ数年採用状況が良好で、職種も多岐にわたっています。地元企業に就職する者、首都圏だけでなく全国を視野に就職活動し採用される者、様々な学生がいます。また、公務員への就職は、青森県内各自治体をはじめ、東北地方や首都圏の各自治体に採用されています。教職以上に競争が激しいのが現実ですが、就職者の1割が公務員として就職しています。

### ●進学

1割弱の卒業生が大学院に進学しています。本学の教育学研究科をはじめ、北海道・東北・関東地方の各大学大学院に研鑽の場を求めています。

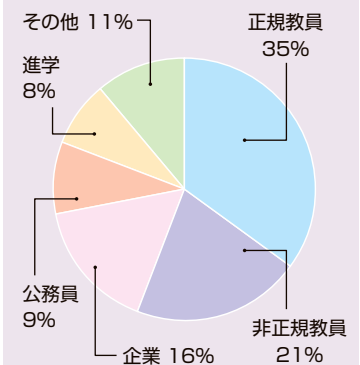
## 就職支援体制

教育学部では、就職支援委員会が中心となり就職支援活動を実施しています。さらに、指導教員が学生一人ひとりに対応した個別指導をしています。教員を目指す学生のために「教職支援室」が設置されており、個別や集団指導、さらには教員採用試験対策講座などを開催しています。各自治体教育委員会の先生方による教員採用試験説明会を実施しています。

また、企業・公務員を目指す学生には、全学部学生を対象とした「キャリアセンター」が設置され、キャリア支援が行われています。企業・公務員ガイダンスやインターンシップ、弘前大学独自の合同企業説明会、企業求人票や公務員試験などの情報提供、個別就職相談を頻繁に開催しています。

## 学校教育教員養成課程 養護教諭養成課程

就職データ (平成29年5月1日現在)



おもな就職先 (正規教員・非正規教員)  
(私学教員を含む)

自治体	正規教員	非正規教員
北海道	9名	6名
青森県	12名	16名
岩手県	5名	3名
宮城県	4名	1名
秋田県	5名	4名
山形県	1名	1名
栃木県*	1名	
群馬県*		1名
埼玉県*	3名	1名
千葉県*	12名	
東京都*	1名	
神奈川県*	2名	1名
新潟県	1名	1名
島根県	1名	
海外	1名	
合計	58名	35名
(首都圏* 合計)	(19名)	(3名)

## 校種別教諭数 (正規教員・非正規教員) (私学教員を含む)

小学校教諭	中学校教諭	高等学校教諭
33名	14名	14名
幼稚園教諭	特別支援学校教諭	養護教諭
4名	11名	17名

## おもな就職先 (企業・公務員)・進学先

	企業	公務員	進学
青森県	(株)ノバレーゼ あおぎんリース(株) 損保ジャパン日本興亜(株) 東奥信用金庫	青森県職員 弘前市職員 黒石市職員 つがる市職員 十和田市職員 青森県警察	弘前大学大学院
北海道・東北	(株)アインファーマシーズ (株)北洋銀行 国立病院機構 北海道・東北グループ 日本郵便(株) など	札幌市職員 釧路市職員 山形県職員 遠野市職員 など	北海道教育大学大学院 宮城教育大学大学院
首都圏・全国	NSホールディングス(株) (株)クリエイティブ・ディー (株)西松屋チェーン など		筑波大学大学院 昭和音楽大学大学院 静岡大学大学院

# 教職支援室

「教師になる」を支援します。

教育学部では、教師を目指す学生のために「教職支援室」が設置されています。教職支援室では、4人の「気持ちの若い」パワフル(?)な元小・中学校長経験者が、教職キャリア支援コーディネーターとして待ちかまえています。教職に関わるあらゆることや教員採用試験に向けてのオールラウンドな具体的助言や対話を重ねています。①小論文・願書の添削、②自己PR文の添削、③個人面接・集団面接、④集団討論、⑤模擬授業、⑥場面指導、⑦進路相談などに対応し、教育論や人生論も含め、共に考え、経験を伝えています。

例年多くの学生が活用を訪れ、今、大学の最もホットな場所のひとつになっています。たくさんの学生が「教師になりたい」から「教師になる」と決意を新たに、教職の大空に飛び立つスポットでもあります。



通常は9時半開室  
10時20分から17時半まで活動





多様な価値観、溢れる情報、揺れる時代の中で、教育は新しい役割を求められているように感じます。様々な価値観と触れ合い、直接的に体感したことを大切に、自分の中で守りたいものを少しずつ明確にしていくこと。自ら求めて多くの人とコミュニケーションをとり合うことや目標に応じてつながりをつくっていくこと。歴史や経験から学んだことを、新しい時代にどう生かしていくか、地域から国際社会に向けて何が発信できるか、どう受信するか、ということを考えて、やれることから実践していくこと。教育現場は、単に学習する場ではいられなくなりました。教師は、自ら自己開示できることや、人と人を結びつける役割や共に挑戦していく姿勢が問われています。教職支援室は、出会う度にぐんぐん成長する学生の皆さんと「小さな地球」の出会いを大切にしています。



山科 寛

教職キャリア支援コーディネーター



齋藤 厚

教職キャリア支援コーディネーター

人生の第2ステージとも言える「社会人スタート」が、自身の『夢や志』を実現するものであったらより素晴らしい。これまで慈しみ、励まし支えてくれた人たち、とりわけ家族のためにも是非がんばってほしい。「学校の先生になりたい」と心から思っている学生を全力で応援しています。真剣にがんばる一人ひとりに向き合い、様々な学習のなかで、子どもとは？ 理想の教師像は？ いい授業とは？ 学級はどう創っていくのか？ 学校が子どもたちのすてきな居場所になるためには？ 等々の本質論とともに、「教師という仕事」のやりがい、喜び、難しさもいっしょに考えていきます。扉をいっしょに開けます。情熱いっぱい子どもを愛する、指導力のある先生が増えることが子どもたちの幸せに繋がります。自分磨きを求め、夢・志の実現のために活用してほしい『教職支援室』です。

教職を目指す志願動機を学生に尋ねてみますと、概ね、次の返答に集約できます。

- ①楽しい学校生活を謳歌できた経験や自分を励ましてくれた恩師との出会いから。
- ②友達へ勉強を教え、分かってもらえた時の安堵感と喜びの後押しから。
- ③辛い学校生活を送った心の傷をバネに、二度と繰り返させたくない思いから。
- ④漠然としていた思いが、教育実習などの経験を経て、明確な目標に変化したから。

当然ながら入室する学生は、学校現場の様子を知り得る機会が少ない状況の中で、自分の思いが実際の場で通じるのか、不安一杯の様子です。そこで、私たち4人がこれまでの経験談や失敗談を語り、対話し一緒に考えて行きます。次第に、今の教育の動向や課題に目を向け、具体的な自分の考えを持つようになり、「よい教師を目指す」という決意へ変化していきます。その変容は、頼もしい限りです。私たちは、卒業時にそして今後も、「どこにいても、よい先生でいられる。」と後押しをし、熱い心を届け、見守っている毎日です。



角野 君代

教職キャリア支援コーディネーター



山田 真寿美

教職キャリア支援コーディネーター

学びの場として施設・設備が充実し、恵まれた教育環境であることを実感しながら、新たな一歩を踏み出そうとしている学生と向き合う度に、心の応援歌がシュプレヒコールのように湧き上がってくる思いがします。志望校種は異なっても『教師になりたい』という強い願いをもち、児童生徒のために自分の力を遺憾なく発揮したいという期待感と、今のままでいいのかという不安感が交差する気持ちが手に取るように伝わり、「私たちを使って」と言いたくなるのです。

激変していく社会の中で、これからの教育は益々厳しく難しいものになることでしょう。何を残して何をどう取り入れていくのか、不易と流行を見極めながら「人を育てる仕事」を誇りにし、「この子のために」自己研鑽しながら共生社会を逞しく生き抜く『先生』が求められると考えます。その一助として、教職支援室があれば幸いに思います。

# アドミッション・ポリシー

## (入学者受入れの方針)

### 教育学部が求める学生像

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる、学校現場で活躍できる専門力と実践力を兼ね備えた教員を養成することを目的としています。この観点から「卒業認定・学位授与の方針」(ディプロマ・ポリシー)と「教育課程編成・実施の方針」(カリキュラム・ポリシー)を十分に理解し、以下に掲げる学力・行動力・意欲を有する学生を求めます。

- 入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学力
- 自立した個人として、または多様な人々と協働して、地域社会における教育に参画していこうとする行動力
- 教育者を目指して知的・人格的に成長していこうとする意欲

また、教育学部の各課程・専攻は、それぞれ次のような特徴を持った学生を求めます。

#### 学校教育教員養成課程 初等中等教育専攻

- 小・中学校等の教員として必要な専門力を修得するための基礎的な学力と、実践力を身に付けるために自律的・協働的に取り組む行動力のある人
- 将来、小・中学校等の教員として、学校教育に貢献したいという強い意志と、明確な目標を持っている人

#### 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻

- 「障害」に関して、教育や福祉、心理、病理など多方面から学ぶための基礎的な学力と、「障害」への関わりを深めていく行動力のある人
- 将来、特別支援学校をはじめとする学校等教員として、特別な支援を必要とする児童・生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人

#### 養護教諭養成課程

- 養護教諭として必要な救急処置や保健指導、健康相談等の専門力を修得するための基礎的な学力と、実践力を身に付けるために自律的・協働的に取り組む行動力のある人
- 子どもの健康問題に高い関心をもち、子どもたちに対し、生涯を通して生命を大切にし、自らの健康を守り高めていける力を身に付けさせたいと願い、養護教諭になりたいという強い意志を持つ人

上記の学力・行動力・意欲を有する学生を選抜するために、多面的・総合的に評価する大学入試を実施します。

### 入学者選抜の基本方針

#### 前期日程

大学入試センター試験、個別学力検査、実技や面接を含む総合的な検査及び調査書の結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、個別学力検査では基礎学力を活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力などを評価します。

また実技では主に技能・判断力・表現力・主体性・協働性を、面接では主に目的・適性・意欲・関心を評価します。

#### 後期日程

大学入試センター試験、面接を含む総合的な検査及び調査書の結果を総合して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、面接を含む総合的な検査及び調査書では主に専攻に対する目的・適性・意欲・関心を評価します。

#### AO入試Ⅰ

出願書類(調査書、自己PR書及び活動報告書)、各専門分野に関する集団討論及び個人面接を総合的に評価して選抜します。集団討論では主に思考力・判断力・表現力・主体性・協働性を、出願書類と個人面接では主に各専門分野に対する目的・適性・意欲・関心を評価します。

#### AO入試Ⅱ

大学入試センター試験、出願書類(調査書、自己PR書及び活動報告書)、専攻に関する集団討論及び個人面接を総合的に評価して選抜します。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、集団討論では主に思考力・判断力・表現力・主体性・協働性を、出願書類と個人面接では主に各専門分野に対する目的・適性・意欲・関心を評価します。



# Q&A

## 解決！よくある質問

オープンキャンパスでよくいただく御質問にお答えします！

**Q** 小学校コースに入学した場合、中学校教諭免許や高等学校教諭免許は取得できますか？

**A** 取得できます。小学校コースでは卒業に必要な授業科目の単位を取ること  
で、必ず小学校教諭免許が取得できますが、必要な単位を追加履修することにより種々の教科の中学校教諭免許、高等学校教諭免許、特別支援学校  
教諭免許(知・肢・病)も取得可能です。(→P. 6を参照)



**Q** 中学校コースに入学した場合、小学校教諭免許は取得できますか？

**A** 取得できます。中学校コースでは卒業に必要な授業科目の単位を取ること  
で、入学時に選択した専修(例えば美術)により、その教科(美術)の中学校  
教諭免許が必ず取得できますが、必要な単位を追加履修することにより小  
学校教諭免許や特別支援学校教諭免許(知・肢・病)も取得可能です。  
(→P. 6を参照)



**Q** 中学校コースのある専修(例えば理科)に入学した場合、その教科(理科)に加えて別の教科の中学校教諭免許(例えば技術)は取得できますか？

**A** 取得できます。その場合、卒業に必要な授業科目の単位を取ること  
で理科の中学校教諭免許が必ず取得できますが、必要な単位を追加履修することにより技術など他の中学校教諭  
免許も取得可能です。ただし、時間割が重なった場合は所属する専修の授業が優先します  
ので、どの教科の組み合わせも4年間で取得可能な訳ではありません。(→P. 6を参照)

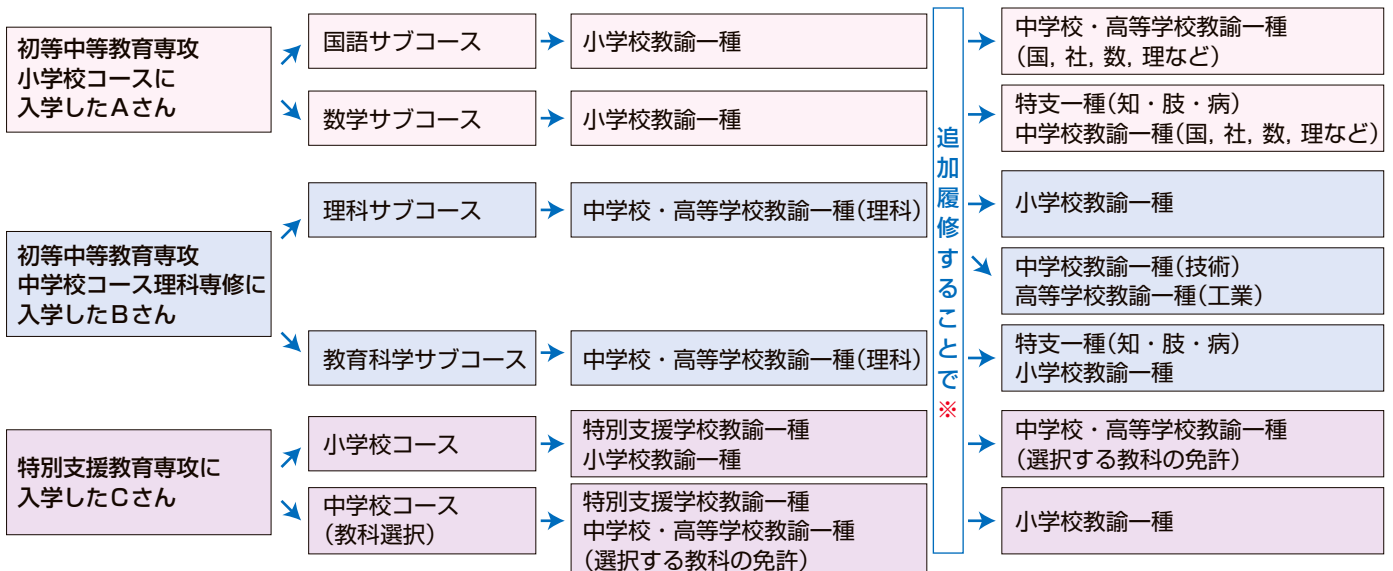


**Q** 特別支援教育専攻に入学した場合、どの教諭免許が取得できますか？

**A** 小学校教諭免許、各教科の中学校教諭免許のどれでも取得可能です。特別支  
援教育専攻では、特別支援学校教諭免許(知・肢・病)と、小学校教諭免許ま  
たは中学校教諭免許(いずれかの教科)を取得することが卒業要件となりま  
す。どの教諭免許にするかは入学後に各自が選択します。必要な単位を追加  
履修することにより、その他の免許も取得可能です。(→P. 6を参照)



### 教諭免許取得の一例



※4年間では取得できない免許の組み合わせもあります。







## 弘前大学

### 1 教育学部

- 2 人文社会科学部
- 3 理工学部
- 4 農学生命科学部
- 5 医学部医学科
- 6 医学部保健学科
- 7 附属幼稚園
- 8 附属小・中学校
- 9 附属特別支援学校



## 弘前大学 教育学部までの交通案内

### ● 徒歩

JR弘前駅から約2km。「近道ルート」を参照。

### ● バス

JR弘前駅から約10分。「松原行」「狼森行」「自衛隊行」「聖愛高校行」に乗車、「弘前大学前」で下車。

### ● タクシー

JR弘前駅から約5分。

### ● 車

東北自動車道「大鰐弘前IC」または「黒石IC」から約30分。

## 弘前市へのアクセス

### ■ 新幹線

東京 — (約3時間) — 新青森 — (約30分) — 弘前  
はやぶさ 特急つがる  
 新函館北斗 — (約1時間) — 弘前  
はやぶさ

### ■ JR奥羽本線

青森 — (約30~40分) — 弘前  
特急  
 秋田 — (約2時間) — 弘前  
特急

### ■ 高速バス

東京 — (約8時間30分) — 弘前  
パンダ号  
 横浜 — (約9時間45分) — 弘前  
ノクターン号  
 仙台 — (約4時間20分) — 弘前  
キャッスル号  
 盛岡 — (約2時間15分) — 弘前  
ヨーデル号



### ■ 東北自動車道

川口JCT — (643.7キロ) — 大鰐・弘前I.C. — (約20分) — 弘前  
 青森I.C. — (11.9キロ) — 浪岡I.C. — (14キロ) — 黒石I.C. — (約20分) — 弘前

### ■ 国道7号

青森 — (40キロ 約1時間) — 弘前  
 秋田 — (165キロ 約3時間15分) — 弘前



弘前大学

HIROSAKI UNIVERSITY 2019

## 教育学部

Faculty of Education

### ■弘前大学問合せ先一覧

本学部案内の内容について質問等がある場合は、  
下記にお問合せください。

#### ◎授業内容・カリキュラムについて

教育学部教務担当 TEL 0172-39-3939

#### ◎入学試験について

入試課 TEL 0172-39-3122・3123

#### ◎学生寮について

学生課課外教育担当 TEL 0172-39-3107・3115

#### ◎奨学金・授業料等免除について

学生課経済支援担当 TEL 0172-39-3117・3135

#### ●弘前大学ホームページアドレス

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/>

#### ●教育学部ホームページアドレス

<http://www.edu.hirosaki-u.ac.jp/>